

日本原子力学会誌「アトモス」総目次 Vol.61, Nos. 1~12(2019)

ATOMOS (*Journal of the Atomic Energy Society of Japan*)

No.1 (1月号)

- 巻頭言 原子力の未来のために 原子力学会が科学技術者集団としての情報発信を：櫻井よしこ, 1.
- 座談会 国家的なリーダーシップの不在が根底に―「もんじゅ」の失敗を総括する：井川陽次郎, 江沼康弘, 澤崎浩昌, 林司, 柳澤務, 向和夫, 澤田哲生, 3.
- インタビュー 改めて問う―「もんじゅ」は活用すべき！有馬朗人氏に聞く：有馬朗人, 14.
- 対談 高速炉は「資源を産みつつゴミ焼却も行う究極の発電炉」, 将来必ず必要になる 資源と環境―今世紀末まで見通す視点を：河田東海夫, 澤田哲生, 17.
- 特別寄稿 高速炉開発の現状と展望：佐賀山豊, 22.
東海再処理工場の軌跡：山村修, 24
海水からのウラン採取技術の現状と展望：玉田正男, 26.
サンクコストの呪縛：青野由利, 28.
- 解説 六ヶ所再処理工場の現状と課題：田中治邦, 30.
日本における新型炉開発計画：持続可能社会に適合する新型炉開発：山口彰, 35.
高速炉サイクルの経済性評価―炉の建設コストと燃料サイクルコスト―：向井田恭子, 加藤篤志, 紙谷正仁, 石井克典, 40.
- 時論 私達は廃炉にどう向き合っていくべきか～高校生と考える廃炉座談会の開催を通して～：遠藤瞭, 48.
- NEWS 原子力界における最近の動き・国内, 海外情報, 50.
- コラム 日本・ベラルーシ友好訪問団：井内千穂, 56.
感謝をこめて・・・：北岡哲子, 56.
スロバキアの原発の歴史：妹尾優希, 57.
立地地域の方たちへの感謝を込めて：竹内純子, 57.
六回目を迎えて：渡辺真由, 58.
「何を食いたいかな」と小銭の管理：渡辺凜, 58.
- 解説シリーズ WEO2017と内外エネルギー情勢への示唆 (6/最終回)：世界のエネルギー需給情勢と原子力：小宮山涼一, 59.
From Editors, 63.
- 連載講座 核融合トリチウム研究最前線―原型炉実現に向けて―(7)：トリチウム蓄積：大矢恭久, 周啓来, 小林真, 64.
- Focus 国内外の原子力教育事情(1)：東京工業大学での原子力教育の取組み：小原徹, 70.
- 談話室 これからの原子力・放射線教育：鶴田隆雄, 73.
- Science Communication 学生たちの提案：岸田一隆, 75.
- 理事会だより 専門知の価値について：山口彰, 76
- 会報 学術的会合の予定, 人事公募, 新入会一覧(第30-5回理事会承認分), 誤記訂正, 編集委員会からのお知らせ
特集号論文募集, 英文論文誌(Vol.56, No.1)目次, 12月主要会務, 77.

No.2 (2月号)

- 巻頭言 温暖化問題へのソリューションを提供する日本：杉山大志, 81.
- 時論 立地地域の誇りと責任, そして覚悟：種市治雄, 82.
我が国の電力・エネルギー政策に求められる「現実感覚」：室伏謙一, 84.
ベリホフ名誉総裁, ロシア原子力の今昔を語る：千野境子, 86
- NEWS 原子力界における最近の動き・国内, 海外情報, 88.
- コラム 138億年のモグラたたき：井内千穂, 94.
トリチウム水に関するニュースへの欧州の関心：妹尾優希, 94
福島の子の「物語」に耳を傾ける：服部美咲, 95.

分野横断的課題：坂東昌子，95.

2年前も今も：渡辺真由，96.

やっぱり再エネは革命的だ：渡辺凜，96.

特集 原子力発電所の運転期間と機器・構造物の経年劣化影響評価

(1)原子力発電所の長期運転への取り組み—高経年化への対応—：岩崎正伸，97.

(2)機器・構造物の経年劣化事象への対応—経年劣化影響評価—：新井拓，100.

(3)電気計装設備(ケーブル)の劣化影響評価について：石井伸弘，103.

(4)コンクリート構造物の劣化影響評価について：島本龍，森下友一朗，北川高史，107.

From Editors，110.

Short Report 福島復興・廃炉推進に向けた学協会連絡会の取り組み～秋の大会での理事会セッションから～：企画委員会，111.

解説 福島第一原子力発電所廃炉の技術戦略について：廃炉の道筋と戦略プラン 2018：福田俊彦，113.

酸化物分散強化型(ODS)フェライト鋼被覆管の開発—組織制御・特性発現メカニズムを中心に—：鶴飼重治，118.

From Abroad Scientific Wanderlust Across the Ocean—海への向こうの研究放浪記，大西洋横断飛行編—：河野俊彦，123.

解説シリーズ 安全かつ効率的な廃止措置に向けて(1)：我が国の原子力施設廃止措置の現状と課題について：山内豊明，128.

最先端の研究開発 量子科学技術研究開発機構(2)：標的アイソトープ治療の研究開発：東達也，133.

連載講座 核融合トリチウム研究最前線—原型炉実現に向けて—(8)：トリチウムプロセッシング：磯部兼嗣，岩井保則，138

Focus 国内外の原子力教育事情(2)：京都大学原子核工学専攻・原子核工学コース：高木郁二，中島健，143.

談話室 ラドン療法の治療実績と研究動向：光延文裕，146.

カリファ大学原子力工学専攻での講義と滞在の記：島津洋一郎，148.

会議報告 将来の原子力を担うリーダーを育成 Japan-IAEA Nuclear Energy Management School：河野裕子，150.

Science Communication イノベーションの重要性：岸田一隆，151.

理事会だより 創立60周年に向けて：岡嶋成晃，152.

会告 代議員選挙について(投票のお願い)，153

会報 学術的会合の予定，次年度会費請求のお知らせ，日本原子力学会基金寄付者芳名一覧，「2019年春の年会」見学会，英文論文誌(Vol.56, No.2)目次，1月主要会務，155.

No.3 (3月号)

巻頭言 文明の恩恵を慎ましく受け，拓く道へ：松浦祥次郎，159.

NEWS 原子力界における最近の動き・国内，海外情報，160.

特集 これまでをふりかえり，今後を展望するⅠ：創立60周年を迎え，学会は何をなすべきか

科学者の社会的責任と科学者コミュニティ：広渡清吾，167.

日本学術会議における原子力問題への取り組み：吉村忍，171.

福島原発災害の特質と生活再建・地域再生の課題：鈴木浩，175.

地震学と原子力：山岡耕春，179.

放射線防護の専門家集団としての学会を支える企画活動：吉田浩子，182.

リスク学の発展と原子力技術の深い関係：岸本充生，185.

60年の歩みに思うこと：井川陽次郎，188.

原子力の危機は「民主主義のコスト」：池田信夫，190.

原子力マネジメント学のすゝめ：上坂充，192.

福島を通して見えてくる原子力の課題：大崎要一郎，194.

超スマートエネルギー社会とこれからの原子力政策：柏木孝夫，196.

原子力推進における国策民営の限界：北村俊郎，198.

原子力発電の歴史と展望：橘川武郎，200.

外野席から見た原子力発電業界：木下富雄，202.

これからの原子力研究に期待すること：滝順一，204.

原子力が提供する「価値」は何か：竹内純子，206.

カナダ在住者からの原子力学会への期待：長崎晋也，208.
日本の原子力対策のほころびや矛盾，欧州取材で実感：服部尚，210.
アセスメント科学と EBR：坂東昌子，212.
責任ある原子力イノベーションとは：藤垣裕子，214.
これからの原子力の「学」および「原子力界」に求められるもの：藤田玲子，216.
原子力産業における人材確保の今昔と今後の展望：村上朋子，218.
原子力事故・災害に対する被ばく医療の将来展望：山下俊一，220.
原子力発電は社会に何をもたらすのか：山本隆三，222.
何かに駆られて走ってきた：和田章，224.

特集 世界から見る原子力発電所の安全

(1)世界の原子力発電所の安全確保：駒野康男，松井三生，226.

(2)日本の原子力発電所の安全確保：決得恭弘，230.

From Editors，232.

(3)原子力発電所の安全—社会からの問題提起：寿楽浩太，233.

解説 人工知能技術の活用と将来展望；深層学習によるき裂進展予測のためのサロゲートモデルの構築：和田義孝，237.

会議報告 原子力の若手と学生の対話会 in 関東 2018 開催報告：村本武司，241.

ジャーナリストの視点 ベタ記事の裏側：柳楽未来，242.

理事会だより 福島原発事故から8年，復興への取り組み：佐藤修彰，243.

会告 2019 年度新役員候補者募集のお知らせ，244.

会報 原子力関係会議案内，新入会一覧，次年度会費請求のお知らせ，「原子力学生国際交流事業」派遣学生募集のお知らせ，英文論文誌 (Vol.56, No.3) 目次，和文論文誌 (Vol.18, No.1) 目次，主要会務，編集後記，編集関係者一覧，245.

No.4 (4月号)

会長あいさつ 創立 60 周年を迎え，未来を切り開こう！：駒野康男，249.

特集 これまでをふりかえり，今後を展望するⅡ：創立 60 周年を迎え，学会は何をなすべきか

福島第一原発事故と日本物理学会の研究者の活動：伊藤好孝，252.

炉物理の使命～師匠と弟子の対話～：千葉 豪，山本章夫，254.

核融合工学のこれまでと，これから：笠田竜太，257.

これまでを振り返り，今後を考える：片山一成，259.

1F 事故前後における大学での核燃料研究と人材育成：宇埜正美，261.

商用軽水炉燃料開発のこれまでとこれから：草ヶ谷和幸，263.

放射性廃棄物の処分等の実施に向けて：田辺博三，265.

地層処分の今後の課題に関する一考察：若杉圭一郎，268.

コミュニケーションのある熱水力ロードマップによる展望：中村秀夫，270.

From Editors，272.

Made in Japan の熱水力～偉大な飛躍を目指して～：三輪修一郎，273.

未来の若者につなぐ放射線計測研究：高橋浩之，276.

放射線挙動・遮へい分野への期待：萩原雅之，278.

改めて考える“人間中心の設計”：佐相邦英，280.

運転操作でのロボットとの協調：五福明夫，282.

「加速器・ビーム科学」と「原子力」：林崎規託，284.

加速器物理学の研究から始める原子力学への教育展開：坂本文人，286.

日本原子力学会における社会・環境部会の意義社会・環境部会の意義：土田昭司，288.

“社会系”の悲哀を超えて：菅原慎悦，290.

国民世論調査から見える原子力平和利用の課題：占部逸正，293.

若手有志による放射線防護基準の検証：福島事故後の緊急時作業員線量限度を巡って：萩野晴之，296.

共通基盤的なデータの必要性：深堀智生，299.

核データ測定—これまでとこれから：片渕竜也，301.

異床同夢：阿部弘亨， 303.

先進材料の可能性を押し上げる加工技術：能登裕之， 305.

日本の原子力発電所の安全確保：決得恭弘， 307.

原子力の安全性向上のための技術開発：後藤圭太， 309.

日本の再処理の歴史を振り返る：大塔容弘， 311.

これからの日本の再処理のあり方：秋山大輔， 314.

沸騰現象シミュレーションの来し方行く末：刃刀資彰， 316.

総合工学の視点からの原子力工学への貢献：笠原直人， 318

ロードマップのローリングを通じた水化学のこれから：河村浩孝， 320.

水化学基礎研究のこれから：室屋裕佐， 322.

原子力安全部の 10 年間の活動を振り返る：阿部清治， 324.

原子力発電の安全性向上の取り組み：谷川純也，津村真吾， 326.

原子力安全の中の廃棄物処分安全：前田敏克， 328.

安全研究と意思決定の健全な関係：村上健太， 329.

原子力学会設立 60 周年によせて一積み残し課題への対応—：柳澤務， 330.

新型炉分野の将来に向けて：市川健太， 333.

リスク部会の設立とその意義について：牟田仁， 335.

リスクの理解，共有のための部会活動について：河合勝則， 337.

今後の世界の原子力開発動向について：橘幸男， 339.

学生連絡会の活動を通して学んだこと：村本武司， 341.

シニアネットワーク (SNW) 連絡会の歩みと新たな展開に向けて：石井正則，早野睦彦， 343

3S の協働プラットフォームとしての原子力学会への期待：宇根崎博信， 345.

倫理委員会を持たない倫理的な学会を目指して：大場恭子， 347.

こたえはダイバーシティと共にある：岡田往子， 349.

スコープを拡大し，読みやすさを追求してきた：佐田務， 351.

福島第一原子力発電所廃炉検討委員会の取り組み：宮野廣， 353.

福島特別プロジェクトの活動：佐藤修彰，三倉通孝，布目礼子， 358

福島復興・廃炉推進に貢献する学協会連絡会の取り組み—被ばくとリスクコミュニケーション，トリチウム水，燃料デブリ取り出し—：宮原要，中山真一， 360.

会 報 原子力関係会議案内，人事公募，2019・2020 年度代議員決定，第 51 回 (2018 年度) 日本原子力学会賞受賞一覧，各部会部会賞一覧，2018 年度 JNST 賞受賞一覧，新規フェロー一覧，2018 年度フェロー賞受賞者一覧，2019 年度シルバー・永年会員の表彰，英文論文誌 (Vol.56, No.4) 目次，主要会務，編集後記，編集関係者一覧， 364.

No.5 (5 月号)

巻 頭 言 福島から「未来を創造する力」を育む：丹野純一， 375.

時 論 日本の原子力と日本原子力学会の 60 年を振り返る：成合英樹， 376.

教育現場から見た福島県の震災復興：野ヶ山康弘， 378.

NEWS 原子力界における最近の動き・国内，海外情報， 380.

コ ラ ム 脱炭素化ビジネス：井内千穂， 386.

英語での放射線関連記事の一般向け配信：妹尾優希， 386.

風評の「一次予防」としての基礎知識：服部美咲， 387.

科学者のネットワーク：坂東昌子， 387.

七転び八起き：渡辺真由， 388.

ナショナリズムへの未練：渡辺凜， 388.

特 集 Mayak 核技術施設作業員の放射線疫学調査研究

(1) Mayak 生産合同施設の概要とコホートの設定：岩井敏，熊澤蕃，仙波毅，石田健二，高木俊治， 389.

(2) 作業員の個人被ばく線量再構築， 392.

(3) 放射線疫学調査結果， 397.

解説シリーズ 最先端の研究開発 量子科学技術研究開発機構 (3)：量子ビーム科学研究：佐藤隆博，越智義浩， 403.

安全かつ効率的な廃止措置に向けて(2)；英国における原子力廃止措置の経験：キース フランクリン，山内豊明，408.

Short Report 厚板鋼材のレーザー切断技術—廃炉の時代の先端技術開発：田村浩司，遠山伸一，413.

From Editors, 415.

連載講座 核融合トリチウム研究最前線(9)；トリチウム安全閉じ込め：岩井保則，枝尾祐希，磯部兼嗣，416.

談話室 リケジョの思い(3)；つまずきは，扉になる：口町和香，421.

Focus 国内外の原子力教育事情(3)；東京大学原子力専攻(専門職大学院)の概要：長谷川秀一，422.

視点〈社会〉を語る (1)社会学者は社会を語れているのか：齋藤圭介，425.

理事会だより 本年度の予算方針 留意事項や重点項目：三倉通孝，426

会 告 2019 年度新役員候補者投票のお願い，427.

日本原子力学会「2019 年秋の大会」発表および参加申込受付のご案内，429.

会 報 原子力関係会議案内，人事公募，新入会一覧，寄贈本一覧，訃報，日米欧原子力国際学生交流事業派遣学生レポート「University of Michigan 滞在記」梅原裕太郎，英文論文誌(Vol.56, No.5)暫定版目次，主要会務，編集後記，編集関係者一覧，431

第 51 回(2018 年度)日本原子力学会賞受賞概要(後付)

No.6 (6 月号)

巻 頭 言 中間貯蔵事業と立地地域：宮下宗一郎，435.

時 論 太陽光発電業界と原発業界が共存する方法を考える：宇佐美典也，436.

知る立場から知らせる立場へ：木越康二，438.

NEWS 原子力界における最近の動き・国内，海外情報，440.

特 集 福島第一事故由来物質に対する環境モニタリング手法の最先端

(1)福島第一原発事故で放出した放射性粒子：佐藤志彦，446.

(2)福島第一原子力発電所事故に伴う海底土広域測定手法：大西世紀，鎌田 創，浅見光史，449.

(3)事故 7 年後の福島の放射線分布状況および環境モニタリング技術の最前線：眞田幸尚，453.

解 説 原子力防災の現状と課題：荒木真一，土信田法男，原口弥生，駒野康男，土田昭司，457.

From Editors, 461.

中国における原子力開発動向；原子力発電動向を中心に：渡辺遙，江川弘和，462.

中性子を用いた次世代がん放射線治療：ホウ素中性子捕捉療法(BNCT)；原子炉から小型加速器へ：櫻井良憲，熊田博明，鬼柳善明，469.

コ ラ ム 浜岡原子力発電所を訪ねて：井内千穂，474

ソーシャルインフルエンサーと原発：妹尾優希，474.

『天文学的』なお値段：野間美智子，475.

「選択」を引き受けて生きるということ：服部美咲，475.

市民，そして中・高校生と共に：坂東昌子，476.

エネルギー利用の心理学：渡辺凜，476.

解説シリーズ 最先端の研究開発 量子科学技術研究開発機構(4)；「量子生命科学」の発進：藤巻秀，五十嵐龍治，高草木洋一，安達基泰，横谷明德，玉田太郎，河野秀俊，鹿園直哉，今岡達彦，赤松憲，小西輝昭，山田真希子，八幡憲明，477.

安全かつ効率的な廃止措置に向けて(3/最終回)；米国の原子力発電所廃止措置の教訓：コリン・オースティン，山内豊明，482.

連載講座 核融合トリチウム研究最前線(10)；炉材料表面および内部のトリチウム分布：大塚哲平，489.

報 告 災害に備えるために必要となる原子力関係者の倫理(その 1)；倫理規程制定・改定の歴史と 2018 年改定のポイント：倫理委員会，494.

Focus 国内外の原子力教育事情(4)；東京大学原子力国際専攻での教育の取組み：藤井康正，498.

日々是好日～福島浜通りだより～ (1)；ほんと安らぐ村の暮らし：吉川彰浩，500.

談話室 リケジョの思い(4)；スパゲッティをゆでながら：口町和香，501.

視点〈社会〉を語る (2)；〈社会〉を語る二つのアプローチ：齋藤圭介，502.

理事会だより 2019 年春の年会「理事会セッション」を終えて：中島健，503.

会 告 「第9回総会」のご通知, 504.

会 報 原子力関係会議案内, 人事公募, 共催行事, AESJ-NEWS 配信のご案内, 「2019 年春の年会」学生ポスターセッション受賞者一覧, 和文論文誌 (Vol.18, No.2) 目次, 英文論文誌 (Vol.56, No.6) 目次, 主要会務, 編集後記, 編集関係者一覧, 505

No.7 (7 月号)

巻 頭 言 未知への一步が, 歴史を築きあげてきた: 鈴木光司, 509.

時 論 個々の原発問題に対する意識の差: 小澤杏子, 510.

NEWS 原子力界における最近の動き・国内, 海外情報, 512

特 集 クリアランスの現状と課題

(1) クリアランスにおける線量規準の考え方: 荻野晴之, 518.

(2) わが国におけるクリアランスの現状: 石井公也, 522.

(3) 物品搬出ガイドラインとクリアランス: 橋本周, 525.

(4) IAEA 安全指針 RS-G-1.7 改訂の動向と主な論点: 服部隆利, 529.

(5) 福島第一原子力発電所における低線量がれきの限定的な再利用の考え方: 島田太郎, 三輪一爾, 武田聖司, 531.

解 説 電力システムの安定運用のために: 再生可能エネルギー大量導入時の基幹系統への影響: 北内義弘, 535.

コ ラ ム パンドラの箱はとっくに開いている: 井内千穂, 540.

ウラン探鉱とスロバキア: 妹尾優希, 540.

安くなるのかもしれないけれど……: 野間美智子, 541.

過去を責めず, 未来に臨む: 服部美咲, 541.

宇宙のロマン: 坂東昌子, 542.

粛々と働くだけでは, 状況は変えられない: 渡辺凜, 542.

解説シリーズ 最先端の研究開発 量子科学技術研究開発機構(5); 核融合エネルギーの実用化に向けた研究開発の進展 (その1): 竹永秀信, 布谷嘉彦, 中本美緒, 平塚淳一, 池田亮介, 林巧, 河村繕範, 543.

連載講座 核融合トリチウム研究最前線(11); トリチウム管理: 原正憲, 赤丸悟士, 中山将人, 549.

報 告 災害に備えるために必要となる原子力関係者の倫理(その2); 原子力安全のための組織文化と倫理: 倫理委員会, 554.

Focus 国内外の原子力教育事情(5); 日米大学・大学院比較(北海道大学 vs. Purdue 大学): 三輪修一郎, 558.
From Editors, 561.

談 話 室 教えて! 専門家の皆さん 統計分析のイロハービュフォンの針: 服部杏菜, 石井伸弥, 562.

リケジョの思い(5); もうひとりの自分: 口町和香, 564.

日々是好日〜福島浜通りだより〜 (2); おすそ分けの連鎖: 吉川彰浩, 565.

視点(社会)を語る (3); 〈社会〉がさきか, 〈個人〉がさきか: 齋藤圭介, 566

理事会だより 会員サービスの向上への取り組み: 高橋信, 567.

会 報 原子力関係会議案内, 新入会一覧, 寄贈本一覧, 英文論文誌 (Vol.56, No.7) 目次, 主要会務, 編集後記, 編集関係者一覧, 568.

第9回総会資料(後付)

No.8 (8 月号)

巻 頭 言 SDGs とデジタル革命が迫る科学技術行政の変革: 有本建男, 571.

時 論 原子力発祥の地から, 今考えていること: 山田修, 572.

「社会の中の予測」という視点: 山口富子, 574

NEWS 原子力界における最近の動き・国内, 海外情報, 576.

解 説 電力システムコスト: OECD/NEA の研究; プラントレベルのコスト評価を超えて: 松井一秋, 582.

不確実なリスクに備える組織文化: 福島第一原子力発電所事故の教訓を踏まえて: 久郷明秀, 587.

生徒の意欲を喚起する授業デザインとは: 福島の震災復興期を考える: 野々山康弘, 592.

重粒子線がん治療装置の開発: 日本から世界へ: 平田寛, 萩原剛, 長本義史, 597.

コ ラ ム 「あつまれ! げんしりょくむら」閉鎖に思う: 井内千穂, 602.

刹那的なマシンへ：佐田務，602.

雲行きの怪しいモホフツェ原子力発電所 新規原子炉の運転開始：妹尾優希，603.

学問のサラダボウル：鳥居千智，603.

避難指示という「自由の制限」を考える：服部美咲，604.

貴重なデータはその時しか残せない：坂東昌子，604.

令和時代のエネルギー問題：マイケル瑛美，605.

凍天：渡辺真由，605.

解説シリーズ 電子顕微鏡の現状と将来展望(1)；走査透過電子顕微鏡および電子エネルギー損失分光法による材料評価：木本浩司，606.

From Editors, 609.

サイエンス 原子核の「かたち」から核図表を見る：中務孝，江幡修一郎，鷺山広平，610.

報 告 東京の高校生，福島第一原子力発電所構内を視察：井内千穂，616.

Focus 国内外の原子力教育事情(6)；カナダ・マクマスター大学における原子力工学教育：長崎晋也，622.

講 演 IAEA の理念と任務～「平和と開発のための原子力」を支える人材～：マリーアリスヘイワード，624.

談 話 室 リスク認知は状況で変わる 対象への不安は知識不足のせいではない：佐田務，626

リケジョの思い(6)；がんばれ，科学の自分：口町和香，628.

日々是好日～福島浜通りだより～ (3)；冬来たりなば春遠からじ：吉川彰浩，629.

視点〈社会〉を語る (4)；社会学者は，〈社会〉を記述するべきか，考察するべきか：齋藤圭介，630.

理事会だより 理事会活動をふりかえって：土田昭司，631.

会 報 原子力関係会議案内，新入会一覧，寄贈本一覧，訃報，2019 年度役員一覧，第 52 回(2019 年度)学会賞受賞候補者推薦募集，2019 年秋の大会見学会ご案内，英文論文誌(Vol.56, No.8)目次，主要会務，編集後記，編集関係者一覧，632.

No.9 (9 月号)

巻 頭 言 迫り来るシンギュラリティと人類の未来：松田卓也，637.

新会長あいさつ 原子力の「再構築期」を目指して：岡嶋成晃，638.

時 論 Unknown unknowns・信頼・中間集団：開沼博，640.

脱炭素化に向けた再生可能エネルギーの限界と原子力の必然性；人新世(Anthropocene)：松井一秋，642.

NEWS 原子力界における最近の動き・国内，海外情報，644.

解 説 最近の原子力動向：第 3 世代炉が本格化；露中台頭の中，SMR 開発に注目：小林雅治，650.

竜巻に対する原子力発電所の設計条件について；設計竜巻風速などの設定における日米の考え方の比較：江口讓，656.

核分裂生成物と燃料デブリの比較；福島第一原子力発電所の廃炉作業時に留意すべき核分裂生成物の影響：「シビアアクシデント時の核分裂生成物挙動」研究専門委員会，661.

From Editors, 666.

コ ラ ム 蓄エネ技術が着々と力を蓄えている？：井内千穂，667.

スロバキアとオーストリア間の国際送電：妹尾優希，667.

基礎研究をたくさんしたい：鳥居千智，668.

「考える」ことを諦めない：服部杏菜，668.

ダークをホープへ転じる旅：服部美咲，669.

物理の時間・生物の時間：坂東昌子，669.

好奇心と科学：マイケル瑛美，670.

無関心と寛容：渡辺真由，670.

解説シリーズ 電子顕微鏡の現状と将来展望(2)；電子線ホログラフィーによる材料解析：谷垣俊明，671.

最先端の研究開発 量子科学技術研究開発機構(6)；核融合エネルギーの実用化に向けた研究開発の進展(その 2)：松本太郎，東島智，675.

連載講座 核融合トリチウム研究最前線(12/最終回)；トリチウム研究の将来展望：小西哲之，680.

報 告 環境科学に関わる学生・若手研究者たちが考える保健物理・環境科学研究：三輪一爾，寺阪祐太，越智康太郎，普天間章，佐々木美雪，廣内淳，687.

Focus 国内外の原子力教育事情(7/最終回)；イタリア・ミラノ工科大学の場合：二ノ方壽，692.
日々是好日～福島浜通りだより～ (4)；紡いでいく暮らし：吉川彰浩，695.
視点(社会)を語る (5)；社会を外側から語るか，内側から語るか：齋藤圭介，696.
理事会だより 2019 年度(令和元年)新たな体制で活動開始：近江正，697.
会 報 原子力関係会議案内，新入会一覧，共催行事，人事公募，主要会務，編集後記，編集関係者一覧，698.

No.10 (10 月号)

巻 頭 言 日本の産業の未来と原子力：安井至，701.
時 論 学術会議報告「我が国の原子力発電所の津波対策」：成合英樹，702.
未来を背負っていく私たちにできることは何か：上野和花，704.
NEWS 原子力界における最近の動き・国内，海外情報，706.
解 説 原子炉ニュートリノの科学と技術の進展；不毛のニュートリノから原子炉炉心監視まで：吉田正，711.
From Editors，715.
プランク定数にもとづくキログラムの新しい定義：130 年ぶりの定義改定とその影響：藤井賢一，716.
コ ラ ム きちっとしたエビデンスとワンフレーズ：井内千穂，721.
ポーランドを訪れて：妹尾優希，721.
科学者と市民：鳥居千智，722.
甲状腺検査の「理解しがたさ」に抗う：服部美咲，722.
トランスサイエンス：坂東昌子，723.
グローバル化での信頼関係：マイケル瑛美，723.
解説シリーズ 電子顕微鏡の現状と将来展望(3/最終回)；先進原子分解能電子顕微鏡による材料局所構造解析：柴田直哉，724.
最先端の研究開発 量子科学技術研究開発機構(7/最終回)；核融合エネルギーの実用化に向けた研究開発の進展(その3)：谷口正樹，坂本慶司，春日井敦，飛田健次，松本太郎，728.
連載講座 基礎から分かる未臨界(1)；今なぜ未臨界か：遠藤知弘，辻本和文，山本章夫，734.
報 告 高速炉開発に関する技術戦略；新型炉部会「高速炉戦略ロードマップ検討会」提言：笠原直人，739.
Short Report 躍動するロシアの原子力開発・国際展開；ATOMEXPO-2019 参加および発電所視察：廣川直機，744.
談 話 室 リケジョの思い(7)；議論を学ぶ，演習授業：口町和香，746.
日々是好日～福島浜通りだより～ (5)；丁寧さと良き一日：吉川彰浩，747.
視点(社会)を語る (6)；社会学の歴史をめぐる3つ目の立場：齋藤圭介，748.
新刊紹介 「爆発作用を受けるコンクリート構造物の安全性評価」，「衝突作用を受ける構造物の局所破壊に関する評価ガイドライン」：白井孝治，749.
ジャーナリストの視点 冷静な議論・判断を呼び起こすには：石戸諭，750.
理事会だより 放射線利用を考える：玉田正男，752.
会 報 原子力関係会議案内，共催行事，訃報，英文論文誌(Vol.56, No.9-10)目次，和文論文誌(Vol.18, No.3)目次，主要会務，編集後記，編集関係者一覧，753.

No.11 (11 月号)

インタビュー 核エネルギーの利用こそが，わが国の将来に希望を与える 松浦祥次郎氏に聞く：松浦祥次郎，757.
NEWS 原子力界における最近の動き・国内，海外情報，763.
解 説 海外諸国と日本の廃止措置に係る仕組みについて：山内豊明，769.
From Editors，774.
分裂片が核分裂生成物となるまで；即発中性子・ガンマ線放出：奥村森，775.
コ ラ ム 「核燃料サイクル計画」映画制作プロジェクト：井内千穂，780.
仙台市を訪れて(1)：妹尾優希，780.
物理の女はかっこいいの？：鳥居千智，781.
「五者であれ」を肝に銘じる：服部美咲，781.
リー・ラッセル博士：坂東昌子，782.
原子力発電に対するイメージ：マイケル瑛美，782.

- 連載講座 基礎から分かる未臨界(2)；未臨界炉の中性子増倍：西原健司，千葉豪，783.
- 新刊紹介 「腐植物質分析ハンドブック 第2版：標準試料を例にして」：土肥輝美，787.
- サイエンス 低線量率放射線影響における幹細胞競合の重要性；腸管オルガノイドを用いた幹細胞競合研究：藤通有希，788.
- 報 告 我が国における大学等核燃およびRI研究施設の在り方について：「原子力アゴラ」調査専門委員会 大学等核燃およびRI研究施設検討・提言分科会，793.
- 今後の高速炉サイクル研究開発；原子力機構の取組：早船浩樹，前田誠一郎，大島宏之，798.
- Short Report 高性能簡易型霧箱の開発とそれを利用した放射線教育の普及活動：戸田一郎，804.
- 新刊紹介 「放射線の生体影響と物理」：泉佳伸，806.
- Short Report 原子力をいかに物語として語るか；PIME2019—他産業の経験に学ぶ：和田裕子，807.
- 日々是好日～福島浜通りだより～ (6)；しあわせと叫びたい：吉川彰浩，810.
- 理事会だより 福島環境再生を目指して：布目礼子，811.
- 日本原子力学会「2020年春の年会」発表および参加申込受付のご案内，812.
- 会 報 原子力関係会議案内，「2019年秋の大会」学生ポスターセッション受賞者一覧，英文論文誌(Vol.56, No.11)目次，10月主要会務，814.

No.12 (12月号)

- 巻 頭 言 IoE(Internet of Energy)社会のエネルギーシステム：浅野浩志，817.
- 時 論 我が国の縮原発政策と将来の電力供給：田中治邦，818.
- NEWS 原子力界における最近の動き・国内，海外情報，820.
- 特 集 役に立つ放射線；電子線(EB)利用と産業利用(滅菌・滅菌)
- (1)電子線(EB)照射を利用した実用技術：鷺尾方一，826.
- (2)医療機器・医薬品等の電子線滅菌：山瀬豊，828.
- (3)飲料用PETボトルの電子線滅菌技術：中俊明，西納幸伸，西富久雄，833.
- 解 説 社会課題への貢献に向けた学会の役割；2019年秋の大会セッションから：岡嶋成晃，小宮山涼一，山口彰，駒野康男，土田昭司，836.
- コ ラ ム AIに最終処分場を決めてもらう？：井内千穂，840.
- 仙台市を訪れて(2)；震災後の松島の復興活動：妹尾優希，840.
- 物理学のOCや講義でよく言われること：鳥居千智，841.
- 新生Jヴィレッジの象徴するもの：服部美咲，841.
- 刷り込みとリテラシー：坂東昌子，842.
- 将来を真剣に考える：マイケル瑛美，842.
- 解説シリーズ 最先端の研究開発 日本原子力研究開発機構(1)；1Fの廃炉と環境回復をめざして(1)：野田耕一，野崎信久，小川徹，山田知典，843.
- わが国の電力市場の全体像と今後の原子力発電(1)；わが国電力市場の全体像：服部徹，847.
- サイエンス 核分裂発見80周年；混乱，高揚そして沈黙までの7年間：吉田正，852.
- From Editors，856.
- 連載講座 基礎から分かる未臨界(3)；未臨界度測定のは：遠藤知弘，左近敦士，857.
- 報 告 米国原子力発電所の最近のパフォーマンス；既存炉を最大限に有効活用：大野薫，863.
- アンケートまとめ 「原子力をめぐる動向や今後」を記事化；学会誌アンケート結果のまとめ：小林容子，佐田務，867.
- 談 話 室 原子力の新卒採用；学生に伝えたい“やりがい”：坂上千春，中村真紀子，870.
- IAEA インターンシップ体験記；世界トップレベルの場での国際感覚の醸成：福田貴齊，三成映理子，871.
- リケジョの思い(8)；知らないことを調べる習慣：口町和香，873.
- 日々是好日～福島浜通りだより～ (7)；共に歩いている：吉川彰浩，874.
- 理事会だより 学会における人材育成，教育委員会の紹介：宇埜正美，875.
- 会 報 学術的会合の予定，人事公募，新入会一覧，2020年フェロー候補推薦募集，日米欧原子力国際学生交流事業派遣学生レポート「IPP滞在記」遠藤理帆，英文論文誌(Vol.56, No.12)目次，和文論文誌(Vol.18, No.4)目次，11月主要会務，876.

総目次・著者名索引(Vol.61, Nos.1～12)(後付)

日本原子力学会誌「アトモス」総目次 Vol.62, Nos. 1~12(2020)

ATOMOS (*Journal of the Atomic Energy Society of Japan*)

No.1 (1月号)

- 巻頭言 ドキュメンタリーによる意識改革：矢座孟之進, 1.
- 時 論 社会科学と科学的特性マップ：西川雅史, 2.
無罪判決と原子力安全：佐治悦郎, 4.
- NEWS 原子力界における最近の動き・国内, 海外情報, 6.
- 特 集 役に立つ放射線：医療への利用
(1)高精度放射線がん治療技術と医学物理士の役割；理工系研究者の新たなキャリアパス：西尾禎治, 12.
(2)放射線治療の高度化と医学物理士：中川恵一, 野沢勇樹, 16.
(3)中性子捕捉療法のためのホウ素薬剤研究開発の進展；ホウ素薬剤が今後の適応疾患拡大の鍵を握る！：中村浩之, 18.
From Editors, 22.
- 解 説 地層処分システムの性能を評価するための熱力学データベースの整備；OECD/NEA の TDB プロジェクトと国内外の整備状況：北村暁, 23.
- コ ラ ム イギリスの高校生たちが見た福島：井内千穂, 29.
グレッタ・トゥーンベリさんの国連スピーチに対する各国の医学生への反応：妹尾優希, 29.
竹のようになっているだろうか？：鳥居千智, 30.
「嫌な空気」を晴らして進む：服部美咲, 30.
科学の心-チェルノブイリの教訓：坂東昌子, 31.
デジタル世代の責任：マイケル瑛美, 31.
- 解説シリーズ わが国の電力市場の全体像と今後の原子力発電(2)；電力市場と原子力発電の収支：服部徹, 32.
最先端の研究開発 日本原子力研究開発機構(2)；1F の廃炉と環境回復をめざして(2)：佐藤優樹, 川瀬啓一, 飯島和毅, 小林卓也, 37.
- 連載講座 基礎から分かる未臨界(4)；臨界安全と未臨界：山根祐一, 42.
- Short Report FORATOM の主張にみる欧州の低炭素社会実現に向けた原子力の必要性：大野薫, 47.
- 日々是好日～福島浜通りだより～ (8)；当たり前の日常がそこにある：吉川彰浩, 49.
- 視点(社会)を語る (7)；社会調査に協力することのメリット/デメリット：齋藤圭介, 50.
- 理事会だより 秋の大会理事会セッション報告：中山真一, 51.
- 会 報 原子力関係会議案内, 新入会一覧, 主催行事案内, 日本原子力学会 基金寄付者芳名一覧, 英文論文誌 (Vol.57, No.1)目次, 主要会務, 編集後記, 編集関係者一覧, 52.

No.2 (2月号)

- 巻頭言 次世代に福島の課題を先送りしない責任：万福裕造, 55.
- 時 論 高レベル放射性廃棄物の地層処分～NUMO の対話活動の取組み～：高橋徹治, 56.
一般人が見た北欧視察から見てきた日本の課題：石原孝子, 58.
- NEWS 原子力界における最近の動き・国内, 海外情報, 60.
- 解 説 比較を含む定量情報とリスクコミュニケーションーより良い意思決定を支援するためにー：桑垣玲子, 菅原慎悦, 65.
ネット・ゼロ排出に向けたエネルギー需給システムの展望：加藤悦史, 70.
技術開発に倫理を組み込むこと：人工知能の事例から；倫理委員会セッション「技術の現場と倫理との相互作用ー AI 技術を例に」：久木田水生, 74.
- コ ラ ム 地層処分先進地に学ぶ：井内千穂, 77.
HBO ドラマシリーズとチェルノブイリ：妹尾優希, 77.
「正しいこと」を凶器にしないために：服部美咲, 78.

GSS：大シーソー模型：坂東昌子，78.

解説シリーズ わが国の電力市場の全体像と今後の原子力発電(3/最終回)：電力市場における原子力発電への支援策：服部徹，79.

サイエンスよみもの 気候予測データを用いた太陽光・風力発電の資源予測—2050年以降の発電資源—：大竹秀明，84.

連載講座 基礎から分かる未臨界(5)：1F燃料デブリの臨界近接監視手法の開発：林大和，加納慎也，和田怜志，89.

報告 使用済燃料対策のIAEA国際会議(教訓を活かす)—傾向分析と最優秀若手研究者賞受賞—：三枝利有，岡村知拓，朝野英一，94.

Short Report OECD/NEAのTCOFFプロジェクトの概要：倉田正輝，99.

私の主張 原子炉廃止措置の理想，解体せず再活用が最善：西村昭彦，102.

談話室 気候変動と原子力の役割に関するIAEA国際会議：尾本彰，日置一雅，104.

リケジョの思い(9)：冬の不調に対処する：口町和香，106.

日々是好日～福島浜通りだより～ (9)：活かされている震災の繋がり：吉川彰浩，107.

理事会だより ホームページのリニューアルについて：小山正史，108.

会報 原子力関係会議案内，共催行事，次年度会費請求のお知らせ，「2020年春の年会」見学会案内，英文論文誌(Vol.57, No.2)目次，主要会務，編集後記，編集関係者一覧，109.

No.3 (3月号)

巻頭言 科学技術と法の協働にむけて：中村多美子，113.

時論 原子力災害と「いのちの保全」—哲学の視点から—：一ノ瀬正樹，114.

NEWS 原子力界における最近の動き・国内，海外情報，116.

特集 「「福島第一原子力発電所廃炉検討委員会」現地状況および活動報告」—福島第一原子力発電所廃炉検討委員会

(1)福島第一原子力発電所廃炉作業の現状：鬼束俊一，121.

(2)福島第一原子力発電所の廃炉のための遠隔技術：浅間一，125.

(3)英知事業・国際協力の取り組み：岡本孝司，127.

From Editors，31.

(4)廃炉検討委員会の取り組み—活動と成果：宮野廣，132.

「SMR(Small Modular Reactor)をめぐる状況と課題」—炉物理部会

(1)SMR開発の展望：小原徹，137.

(2)東芝エネルギーシステムズ(株)における小型炉の開発：浅野和仁，139.

(3)日立GEニュークリア・エナジーにおける取り組み状況：木藤和明，141.

(4)三菱重工におけるSMR開発の取り組み：木村芳貴，143.

コラム 温暖化対策のもやもや：井内千穂，145.

HBOドラマシリーズとチェルノブイリ(2)：妹尾優希，145.

福島処理水問題への“compassion”：服部美咲，146.

人生最大のプレゼント：坂東昌子，146.

報告 「安全目標」再考：我が国でのあり方を問う：山口彰，菅原慎悦，佐治悦郎，147.

2002年地震本部の見解に信頼性はあったのか—三陸沖から房総沖の地震活動長期評価の功罪—：吉田至孝，153.

連載講座 基礎から分かる未臨界(6)：加速器駆動システムにおける未臨界度監視：方野量太，山中正朗，158.

談話室 Lounge THE BATTLE FOR FUKUSHIMA'S REPUTATION：Steve Terada，163.

新刊紹介 原子力発電世論の力学：佐田務，165.

談話室 「世界原子力大学夏季研修(WNU-SI)」2020年日本開催若手参加支援にむけて：桜井久子，166.

日々是好日～福島浜通りだより～ (10)：実り，味わう秋：吉川彰浩，167.

視点〈社会〉を語る (8)：国際比較調査の面白さと危うさ：齋藤圭介，168.

ジャーナリストの視点 原発が使えるうちに新時代へ一歩を：村山知博，169.

理事会だより 福島9年，福島への学会の取り組み：三倉通孝，170.

会告 2020年度新役員候補者募集のお知らせ，171.

会報 原子力関係会議案内，共催行事案内，新入会一覧，次年度会費請求のお知らせ，「原子力学生国際交流事業」派遣学生募集，英文論文誌(Vol.57, No.3)目次，和文論文誌(Vol.19, No.1)目次，主要会務，編集後記，編集関係者一

No.4 (4月号)

- 巻頭言 令和の誓い：我が国の原子力平和利用と核物質管理の進展を！：千崎雅生, 177.
- 時 論 エネルギー政策のためのエビデンス：「生産」と「輸入」に関する一考察：杉山昌広, 178.
- NEWS 原子力界における最近の動き・国内, 海外情報, 180.
- 特 集 「深地層の研究施設におけるこれまでの成果と今後への期待」—バックエンド部会活動報告
(1)原子力機構における深地層の研究施設計画の成果の概要：仙波毅, 186.
(2)原環センターにおける深地層の研究施設を活用した研究開発について：小林正人, 191.
(3)電力中央研究所における深地層の研究施設を活用した研究開発について：幡谷竜太, 田中靖治, 長谷川琢磨, 窪田健二, 195.
(4)海外施設での共同研究例と今後への期待：澁谷早苗, 藤崎淳, 199.
- 解 説 送配電設備に対する防災・減災対策の現状と課題：激甚化する台風災害への対応：朱牟田善治, 石川智巳, 203.
新検査制度の本格運用に向けた大飯発電所の対応状況について：榎本晋嗣, 208.
放射線を駆使したバイオマス由来機能材料の開発：放射線グラフト重合と多成分連結反応の融合による新潮流：覚知亮平, 212.
- コ ラ ム NIMBY なごみの行方：井内千穂, 217.
立場の違いによって生じる相互理解の難しさ：上野和花, 217.
広島高裁, 伊方3号の運転を差し止め：佐田務, 218.
オーストリア, スロバキア, チェコの原発三国志：妹尾優希, 218.
知る・共有する・議論する：服部杏菜, 219.
「たられば」がふさわしからぬとき：服部美咲, 219.
- 連載講座 核セキュリティ入門(1)：核セキュリティとは何か？：宇根崎博信, 220.
基礎から分かる未臨界(7)：動力炉(BWR)での未臨界度監視手法の開発：田代祥一, 225.
- Short Report IAEA 総会に参加して～ブース展示と幹部懇談～：Liu Daniel, 230.
- 談 話 室 リケジョの思い(10)：新学科生に幸あれ：口町和香, 232.
日々是好日～福島浜通りだより～ (11)：ふくしまで遊ぶ：吉川彰浩, 233.
- 理事会だより 本年度の予算方針について：川村愼一, 234.
- 会 報 原子力関係会議案内, 人事公募, 次年度会費請求のお知らせ, 2020年度新規フェロー, 2019年度学会賞受賞一覧, 各部会部会賞一覧, 2019年度JNST賞受賞一覧, 2019年度フェロー賞受賞者一覧, 2020年度シルバー・永年会員一覧, 英文論文誌(Vol.57, No.4)目次, 主要会務, 編集後記, 編集関係者一覧, 235.

No.5 (5月号)

- 巻頭言 コロナウイルスへの既視感：神里達博, 247.
- 時 論 ドイツの再エネ欺瞞はどこまで続けられるか？：小野章昌, 248.
共同通信記事「安全対策・維持・廃炉に13兆円」から見たこと：金氏顯, 250.
環境への行動として, 地層処分に向き合う：鈴木早苗, 252.
- NEWS 原子力界における最近の動き・国内, 海外情報, 254.
- 特 集 「レーザーの特徴を利用した研究開発Ⅳ」—東京大学弥生研究会—原子・分子の分光分析技術とその応用
(1)kW級CWレーザーを用いた表面クリーニング技術の開発と除染適用の試み：藤田和久, 稲垣博光, 豊澤一晃, 高原和弘, 移川隆行, 藤田啓恵, 山田正明, 沖原伸一郎, 259.
(2)過酷環境下での遠隔レーザー分析技術：大場弘則, 若井田育夫, 平等拓範, 263.
(3)レーザー法による原子炉厚板鋼材切断技術の開発：田村浩司, 遠山伸一, 268.
- 解 説 集団思考(groupthink)とは何か：複合集団における集団思考の可能性：松井亮太, 272.
- コ ラ ム 「核のごみ」の最終処分に関する対話型全国説明会：井内千穂, 277.
困るのは未来の人？：上野和花, 277.
高校2年生になった今の私の問題意識：小澤杏子, 278.
プラハ共産主義博物館を訪れて：妹尾優希, 278.
私にとっての復興：服部杏菜, 279.

- 「福島復興に責任をとる」ということ：服部美咲, 279.
- 解説シリーズ 最先端の研究開発 日本原子力研究開発機構(3)：原子科学の最先端を拓く：リカルド・オルランディ, 廣瀬健太郎, 矢板毅, 山上浩志, 家田淳一, 神戸振作, 石川法人, 280.
- 連載講座 基礎から分かる未臨界(8/最終回)：未臨界実験が何に役立つのか：山本俊弘, 285.
- 報告 廃炉国際ワークショップ(FDR2019)報告—福島発 未踏領域への挑戦を目指して—：FDR2019 組織委員会, 290.
- 日々是好日～福島浜通りだより～ (12/最終回)：こころ戻り, 歩みだす：吉川彰浩, 293.
- 視点〈社会〉を語る (9)：学生にとって, 社会調査の魅力とは何か：齋藤圭介, 294.
- 理事会だより ダイバーシティの推進について：藤澤義隆, 295.
- 会 告 2020 年度新役員候補者投票のお願い, 296.
- 日本原子力学会「2020 年秋の大会」発表および参加申込受付のご案内, 298.
- 会 報 原子力関係会議案内, 人事公募, 共催行事, 英文論文誌 (Vol.57, No.5) 目次, 主要会務, 編集後記, 編集関係者一覧, 300.
- 第 52 回(2019 年度)日本原子力学会賞受賞概要(後付)

No.6 (6 月号)

- 巻 頭 言 ふくしまの復興の取り組みから学ぶもの：小沢喜仁, 303.
- 時 論 原子力事業は「普通」という意識：村上朋子, 304.
- NEWS 原子力界における最近の動き・国内, 海外情報, 306.
- 特 集 変動性再エネの導入増に伴う CO₂ 削減と電力安定供給の課題：中垣隆雄, 312.
- コ ラ ム 新型コロナウィルスの情報錯綜と不安：井内千穂, 320.
- 同情と共感：上野和花, 320.
- 期限 2 年, 汚染水処理問題をどうするのか：小澤杏子, 321.
- OECD 各国の医師の男女比を調査して見えてきたこと：妹尾優希, 321.
- 行動することを躊躇する時, 幼子を思い出す：服部杏葉, 322.
- 今・このために過去と世界に学ぶ：服部美咲, 322.
- 報 告 可逆性を担保する回収可能性に関する技術的対応と性能評価に向けた工学技術の役割～(1)回収可能性に対する技術的対応のあり方～：江守稔, 323.
- 連載講座 よくわかる PRA～うまくリスクを使えるために～(1)：確率論的リスク評価の技術課題：丸山結, 喜多利亘, 倉本孝弘, 328.
- 核セキュリティ入門(2)：核セキュリティ強化に向けた取り組み：須田一則, 木村隆志, 334.
- Short Report GLOBAL2019 国際会議の概要報告：飯塚政利, 高橋優也, 佐々木祐二, 中瀬正彦, 村上毅, 太田宏一, 高木直行, 鷹尾康一郎, 塚原剛彦, 339.
- IAEA「長期的な原発使用済み燃料の管理に対する戦略と機会」技術会合に参加して：佐藤勇, 西原健司, 343.
- 軽水炉燃料国際会議「TOP FUEL2019」の概要：坂本寛, 346.
- Focus 原子力人材育成ネットワークを活用した取り組み：茨城県大洗町における原子力人材育成：中山直人, 348.
- 私の主張 日本の石炭戦略：杉山大志, 350.
- 談 話 室 原子力分野におけるジェンダーバランス改善をめぐる動き— OECD/NEA 国際会議での議論から—：上田欽一, 352.
- ジャーナリストの視点 使いたくない言葉：河村尚志, 354.
- 理事会だより 監事の仕事と雑感：中田耕太郎, 355.
- 会 告 「第 10 回総会」のご通知, 356.
- 会 報 原子力関係会議案内, 次年度会費請求お知らせ, 教育会員募集案内, 英文論文誌 (Vol.57, No.6) 目次, 和文論文誌 (Vol.19, No.2) 目次, 主要会務, 編集後記, 編集関係者一覧, 357.

No.7 (7 月号)

- 巻 頭 言 落語絵本「発電お好み焼き横丁」～楽しく学べるエネルギー教育～：山野元気, 361.
- 時 論 コロナが世界を変えつつある：佐田務, 362.

NEWS	原子力界における最近の動き・国内, 海外情報, 364.
解説	米国における廃止措置シーン; 進化する廃止措置ビジネス形態: 澁谷進, 369.
コラム	映画『Fukushima50』をどう受けとめるか: 井内千穂, 375.
	環境問題にとっての「未来」とは: 小澤杏子, 375.
	原子力発電所を国際間でシェアークロアチアの原子力事情: 妹尾優希, 376.
	大学進路ミスマッチ予防策: 鳥居千智, 376.
	人としてできること: 服部杏葉, 377.
	感謝をこめてもてなす「復興五輪」: 服部美咲, 377.
サイエンスよみもの	火星は生命の誕生と生存に適した環境だった: 福士圭介, 関根康人, 378.
連載講座	よくわかる PRA〜うまくリスクを使えるために〜(2); リスクと不確かさ: 牟田仁, 糸井達哉, 385.
報告	可逆性を担保する回収可能性に関する技術的対応と性能評価に向けた工学技術の役割〜(2)より確からしい性能評価に向けた工学技術の役割〜: 江守稔, 389.
	From Editors, 394.
	OJEを用いた原子力規制教育の取組み: 北田孝典, 竹田敏, 中村隆夫, 395.
談話室	リケジョの思い(11); ここから始めよう: 口町和香, 400.
視点(社会)を語る	(10); 質問紙調査の魅力と落とし穴: 齋藤圭介, 401.
ジャーナリストの視点	福島事故と新型コロナ禍: 矢野寿彦, 402.
理事会だより	新型コロナウイルス禍に思う: 佐治悦郎, 403.
会報	原子力関係会議案内, 次年度会費請求お知らせ, 新入会一覧, 英文論文誌(Vol.57, No.7)目次, 主要会務, 編集後記, 編集関係者一覧, 404.
第10回総会資料(後付)	

No.8 (8月号)

巻頭言	科学・技術と社会の接点: 白川英樹, 407.
時論	浦賀沖に見える日本のエネルギー問題: 金田武司, 408.
NEWS	原子力界における最近の動き・国内, 海外情報, 410.
講演	コミュニケーションの基本: 「私」が「私たち」になるとき: 岸田一隆, 416.
特集	未来につなぐ福島県の放射線教育の取り組み
	(1)福島県教育委員会の放射線教育の取り組み: 阿部洋己, 421.
	(2)探究的に学び, 未来を切り拓くコミュタン福島の放射線教育: 佐々木清, 423.
	(3)放射線教育の広がり継続性への課題: 山口克彦, 426.
	(4)放射線と福島の現状を学ぶ教育モデルについて: 原尚志, 428.
解説	原子力発電新規導入国の原子力人材育成に対する日本の支援の現状: より安全な原子力発電導入へのサポート: 鳥羽晃夫, 430.
コラム	Zoom 越しの連帯: 井内千穂, 435.
	パンデミックでの気付き: 小澤杏子, 435.
	新型コロナウイルスとスロバキア: 妹尾優希, 436.
	サイエンスの真髄と“cram”: 鳥居千智, 436.
	目に見える, 見えない: 服部杏葉, 437.
	「ためにする」批判を見分ける: 服部美咲, 437.
解説シリーズ	最先端の研究開発 日本原子力研究開発機構(4); 今こそ, 高速炉の話: 持続性あるエネルギー供給へ: 根岸仁, 上出英樹, 前田誠一郎, 中村博文, 安部智之, 438.
サイエンスよみもの	電磁ノイズの発生メカニズムの解明と来たるべきノイズレス社会: 土岐博, 442.
連載講座	よくわかる PRA〜うまくリスクを使えるために〜(3); 外部ハザードについて考えるべきこと: 高田孝, 山野秀将, 成宮祥介, 448.
	核セキュリティ入門(3); 核セキュリティのための核物質検知技術: 高橋佳之, 小泉光生, 452.
報告	福島の若者は原子力に何を感じているか—夢と課題—: 赤尾尚洋, 鈴木茂和, 坪谷隆夫, 嘉齊滯, 重石智大, 457.
	福島復興・再生に向けて—震災後9年を振り返る—地元と寄り添う福島特別プロジェクトの活動—: 藤田玲子,

高村昇, 小沢晴司, 461.

From Editors, 466.

Short Report IEA「2019年版世界エネルギー見通し」概要: 小林雅治, 467.

理事会だより 理事会の活動について: 中島健, 470.

会 報 原子力関係会議案内, 人事公募, 新入会一覧, 2020年度役員紹介, 第53回(2020年度)学会賞受賞候補者推薦募集, 英文論文誌(Vol.57, No.8)目次, 主要会務, 編集後記, 編集関係者一覧, 471.

No.9 (9月号)

新会長あいさつ 原子力の信頼回復と未来に向けて: 中島健, 475.

巻 頭 言 福島での人材育成: 上昌広, 477.

時 論 異分野交流さまざま: 防護と治療: 坂東昌子, 478.

NEWS 原子力界における最近の動き・国内, 海外情報, 480.

特 集 原子力災害による福島農業の現状と課題

(1)農用地における放射能汚染対策の成果と今後の課題: 福島県の水稲栽培と農業用水を中心に: 申文浩, 486.

(2)原子力災害による被害から営農再開まで: 食の安全を確保するために: 小山良太, 490.

(3)震災10年以降を見据えて: 復興政策の課題: 橘清司, 494.

解 説 核分裂の理論研究最前線—分裂する原子核の変化する形を追って—: 石塚知香子, 千葉敏, 499.

解説シリーズ 最先端の研究開発 日本原子力研究開発機構(5): 高温ガス炉システムの実用化をめざして: 峯尾英章, 西原哲夫, 大橋弘史, 後藤実, 佐藤博之, 竹上弘彰, 504.

コ ラ ム 冊子がいざなう時空の旅: 井内千穂, 509.

「防護服」 廃炉作業と感染症治療: 上野和花, 509.

ビル・ゲイツから学べる準備の大切さ: 小澤杏子, 510.

震災と新型コロナ第2波への対策: 妹尾優希, 510.

甲状腺スクリーニング検査の意義を改めて問う: 服部杏菜, 511.

出口なき誹謗の矢を射るリスク: 服部美咲, 511.

講 演 高レベル放射性廃棄物等の地層処分場立地可能性調査の受け入れを求めて: 原子力発電環境整備機構の対話活動: 近藤駿介, 512.

From Editors, 517.

サイエンスよみもの 熔融塩電解で酸化ウランを金属に還元する—金属燃料高速炉への燃料供給に向けた技術開発—: 坂村義治, 518.

連載講座 よくわかるPRA—うまくリスクを使えるために—(4): 安全目標の現状と今後の課題: 山口彰, 成宮祥介, 522.

報 告 失敗を許す社会へ: 松井亮太, 527.

原子力人材育成ネットワーク活動の国際展開—IAEAの国内ネットワーク構築プロジェクト支援—: 山下清信, 中園雅巳, 鳥羽晃夫, 532.

理事会だより 2020年度(令和2年)新たな体制で活動開始: 高木宏彰, 535.

会 報 原子力関係会議案内, 人事公募, 新入会一覧, 寄贈本一覧, 英文論文誌(Vol.57, No.9)目次, 和文論文誌(Vol.19, No.3)目次, 主要会務, 編集後記, 編集関係者一覧, 536.

No.10 (10月号)

巻 頭 言 環境放射能の課題: 森田昌敏, 541.

時 論 With コロナと原子力: 他害リスクとの共生: 越智小枝, 542.

科学分野におけるダイバーシティの現状と課題: 宮浦千里, 544.

NEWS 原子力界における最近の動き・国内, 海外情報, 546.

解 説 県外最終処分に向けた技術シナリオの検討: 環境放射能除染学会での研究会活動: 山田一夫, 有馬謙一, 大迫政浩, 遠藤和人, 551.

燃料挙動解析コードFEMAXI-8の開発と公開: 信頼性向上と燃料分野での利用拡大に向けて: 宇田川豊, 555.

燃料集合体内の三次元沸騰二相流挙動の可視化: 軽水炉三次元熱流動実験設備(SIRIUS-3D)の概要と活用: 新井崇洋, 古谷正裕, 560.

解説シリーズ 世界情勢の構造的変化とエネルギー(1): 新型コロナウイルスとエネルギー情勢: 小宮山涼一, 565.

- Focus 原子力関連国際機関の最近の動向と日本からの期待(1)；OECD/NEA の概観と活躍を増す日本：森田深，大塚伊知郎，舟木健太郎，570.
- コ ラ ム 原子力と哲学：井内千穂，575.
 想い描く未来へ：上野和花，575.
 東京都知事選での違和感：小澤杏子，576.
 緊急時下の労働力とは？：妹尾優希，576.
 最適な選択を考える：服部杏菜，577.
 批評家ではなくプレイヤーになる：服部美咲，577.
- サイエンスよみもの 量子力学の不可解な挙動が拓く未来技術—アインシュタインの反抗から量子科学衛星まで—：吉田正，578.
 From Editors，582.
- 連載講座 核セキュリティ入門(4)；核セキュリティを支える核鑑識技術：木村祥紀，583.
 よくわかる PRA—うまくリスクを使えるために—(5)；人間信頼性解析の現状：高橋信，氏田博士，588.
- Short Report 放射線遮蔽工学の体系化と知識の普及；第 52 回日本原子力学会「貢献賞」を受賞して：上菴義朋，594.
 使用済燃料の貯蔵に係る動向セミナーの開催報告：平尾好弘，栗山和重，松岡猛，598.
 原子力人材育成大学連合ネットワークによる原子力教育：西村章，600.
 2020 年米国研修派遣体験記—世界トップレベルの原子力の環境を見て，日本で原子力を志す若者として感じたこと—：和田山晃大，島津美宙，鈴木航介，603.
- 談 話 室 一步一步の日常(1)；読書と挫折：口町和香，605.
- 視点(社会)を語る (11)；社会調査とプライバシーの微妙なバランス：齋藤圭介，606.
- 理事会だより 学会の経営改善に向けた取り組み：藤澤義隆，607.
- 会 報 原子力関係会議案内，人事公募，英文論文誌(Vol.57, No.10)目次，主要会務，編集後記，編集関係者一覧，608.

No.11 (11 月号)

- 巻 頭 言 国際的視点から見るコロナとエネルギー政策：三浦瑠麗，611.
- 時 論 これからの原子力；発電・燃料供給・CO₂ 除去：堀雅夫，612.
- 座 談 会 1F 事故をふりかえり，今後を展望する：井内千穂，井上正，小出重幸，佐田務，佐治悦郎，滝順一，竹内純子，田中治邦，松浦祥次郎，藤田玲子，山口彰，澤田哲生，614.
- NEWS 原子力界における最近の動き・国内，海外情報，630.
- 解 説 緊急時海洋環境放射能評価システムの開発；海洋拡散の迅速な予測を可能に：小林卓也，川村英之，上平雄基，635.
 3 次元有限要素法による 2011 年東北地方太平洋沖地震本震時の東京電力福島第一原子力発電所 1 号機の応答解析：吉村忍，山田知典，宮村倫司，640.
 From Editors，644.
- 解 説 福島第一原子力発電所廃炉作業環境における遠隔放射線イメージング技術の開発と実証；統合型放射線イメージングシステム iRIS の構築：佐藤優樹，寺阪祐太，鳥居建男，645.
 乾式再処理による照射済金属燃料からのマイナーアクチノイド回収：高速炉サイクルによるマイナーアクチノイド分離変換システムの確立に向けて：村上毅，飯塚政利，650.
- コ ラ ム オンライン座談会の効用：井内千穂，655.
 震災を風化させないために：小澤杏子，655.
 「命か経済か」じゃなくて「どちらも命」：佐治悦郎，656.
 勉強ができて良いこととは？：鳥居千智，656.
 持続可能な社会を目指して 1—土壌づくり—：野ヶ山康弘，657.
 「バベルの塔」の後を生きる：服部美咲，657.
- 解説シリーズ 最先端の研究開発日本原子力研究開発機構(6)；廃止措置と廃棄物の処理処分を目指して(1)；低レベル放射性廃棄物の処理処分とウラン鉱山閉山措置に関する技術開発：辻智之，杉杖典岳，佐藤史紀，松島怜達，片岡頌治，岡田翔太，佐々木紀樹，井上準也，658.
- 連載講座 よくわかる PRA—うまくリスクを使えるために—(6/最終回)；データを用いた不確かさの推定：桐本順広，664.

- Focus 原子力関連国際機関の最近の動向と日本からの期待(2)；NEA 活動から見る原子力安全の国際動向：熊谷裕司，齋藤智之，669.
- 報 告 新設軽水炉で実現すべき技術要件について一新設でこそできる安全かつ合理的な設計を目指して一：原子力発電部会「次期軽水炉の技術要件検討」WG，674.
- 世代間対話を通じた原子力技術と文化の伝承；学生・教員とシニアとの対話活動：大野崇，松永一郎，若杉和彦，石井正則，679.
- 理事会だより 学会における人材育成，教育委員会の紹介：宇埜正美，684.
- 会 報 原子力関係会議案内，「2021 年春の年会」開催に関するお知らせ，新入会一覧，寄贈本一覧，「2020 年秋の大会」学生ポスターセッション受賞者一覧，人事公募，英文論文誌(Vol.57, No.11)目次，主要会務，編集後記，編集関係者一覧，685.

No.12 (12月号)

- 巻 頭 言 2050 年カーボン・ニュートラルに向けて：豊田正和，689.
- 時 論 太陽光発電導入の今後を憂う～三重の苦にどう対応するのか～：帆足興次，690.
- NEWS 原子力界における最近の動き・国内，海外情報，692.
- 特 集 外部被ばくの放射線防護における電量概念の変遷と展望
- (1)外部被ばくの放射線防護の線量体系：岩井敏，石田健二，高木俊治，猪狩貴史，原口和之，村野井友，698.
- (2)防護量の変遷と今後の見通し：岩井敏，石田健二，高木俊治，猪狩貴史，原口和之，村野井友，703.
- (3)実用量の変遷と今後の変更：岩井敏，石田健二，高木俊治，猪狩貴史，原口和之，村野井友，708.
- 解 説 福島復興に向けた除染のあゆみ－震災後 9 年を振り返る－：中尾淳，Evrard Olivier，712.
- 高放射線・狭隘環境での線量率分布の遠隔測定を可能とする光ファイバ型線量率計測技術：上野克宜，岡田聡，田所孝広，717.
- ドローンを活用した送電線と樹木の離隔の評価：中屋耕，722.
- 解説シリーズ 最先端の研究開発日本原子力研究開発機構(7)；地層処分に関する最新の研究開発の動向(2)；棚井憲治，望月陽人，花室孝広，清水麻由子，三原守弘，727.
- コ ラ ム 良い話し合いとは：今中咲幸，732.
- 持続可能な社会を目指して 2～教育現場の実情～：野ヶ山康弘，732.
- 組織的な教育が個人に与える影響を考える：服部杏菜，733.
- ポストコロナへの眼差し：科学教育：坂東昌子，733.
- 人間としての責任：松本杏奈，734.
- 予防原則と ALARP の共通点：山口 彰，734.
- 報 告 放射線防護関連学会の合同アンケート調査で明らかになった人材確保・育成の課題：神田玲子，飯本武志，甲斐倫明，児玉靖司，小林純也，酒井一夫，富永隆子，中島覚，細井義夫，松田尚樹，杉浦紳之，百瀬琢磨，吉澤道夫，735.
- 連載講座 核セキュリティ入門(5)；原子力安全と核セキュリティ(2S)のインターフェース：出町和之，741.
- Focus 原子力関連国際機関の最近の動向と日本からの期待(3)；NEA における廃止措置と放射性廃棄物管理の諸課題：東原知広，倉田拓音，小泉まどか，745.
- 理事会だより 秋の大会 Web 開催実施報告，千葉敏，750.
- 会 報 原子力関係会議案内，人事公募，2021・2022 年度代議員候補者推薦について，2021 年度フェロー候補推薦募集，計報，誤記訂正，英文論文誌(Vol.57, No.12)目次，和文論文誌(Vol.19, No.4)目次，主要会務，編集後記，編集関係者一覧，751.

総目次・著者名索引(Vol.62, Nos.1～12)(後付)

日本原子力学会誌「アトモス」総目次 Vol.63, Nos. 1～12(2021)

ATOMOS (*Journal of the Atomic Energy Society of Japan*)

No.1 (1月号)

- INTERVIEW 「高レベル放射性廃棄物処分の問題にみんなが向き合ってほしい」；神恵内村長高橋昌幸氏に聞く：澤田哲生, 1.
- 時 論 「人間の安全保障」と原子力：齊藤正樹, 3.
- NEWS 原子力界における最近の動き・国内, 海外情報, 5.
- 特 集 I 福島原発事故とその後：原子力施設立地点からのメッセージ
「立地地域」とは：宮下宗一郎, 12.
今後の原子力に対する想い：越善靖夫, 13.
原子力が「現実解」たるためには：須田善明, 15.
原子力について「みんな」で考えたい：山田修, 17.
原子力立地地域から思うこと：淵上隆信, 18.
半世紀に亘る「原子力と共生するまちづくり」：戸嶋秀樹, 19.
地球温暖化と原子力の果たすべき役割：中塚寛, 20.
原子力政策の停滞要因：野瀬豊, 21.
玄海町と原発—再稼働から廃炉の時代に向けて—：脇山伸太郎, 23.
- 座 談 会 どうする？安全目標：佐治悦郎, 佐田務, 寿楽浩太, 田中治邦, 滝順一, 松岡猛, 山口彰, 澤田哲生, 25.
東日本大震災から10年, 若者が未来を展望する：安藤七哉, 石崎悠也, 上野和花, 加藤結, 武藤あおい, 矢座孟之進, 井内千穂, 澤田哲生, 37.
- 新刊紹介 ウランの化学(I)—基礎と応用—：坂村義治, 43.
- 解 説 目に見えない脅威にどう対処するのか？：新型コロナウイルスと放射性物質：越智小枝, 山口彰, 土田昭司, 44.
原子力安全にかかるパンデミックの国内外の現状と課題：小林哲朗, 高田孝, 成宮祥介, 飯田晋, 50.
From Editors, 54.
電力設備および業務を対象とした画像センシングの研究状況：中島慶人, 55.
複数基立地サイトのリスクに対する考察—確率論的リスク評価の観点での定性的な分析—：三浦弘道, 60.
- 解説シリーズ 世界情勢の構造的変化とエネルギー(2)：転機を迎える石油情勢：小宮山涼一, 65.
- コ ラ ム デイノコッカス・ラディオデュランス, 宇宙へ：秋江拓志, 70.
穢れと秩序：越智小枝, 70.
「統合」の時代に：菅原慎悦, 71.
スロバキアから福島へ(1)：妹尾優希, 71.
目標立ては意外と忘れがちのようで：鳥居千智, 72.
持続可能な社会を目指して3～子どもたちの感覚～：野ヶ山康弘, 72.
- 報 告 研究炉等へのグレーデッドアプローチ適用に係る課題と提言：与能本泰介, 峯尾英章, 村山洋二, 芳原新也, 中島健, 中塚亨, 上坂充, 73.
アジア諸国における放射性廃棄物管理の動向—IAEA ANSN RWMTGの活動報告—：青木広臣, 廣田明成, 内田雅大, 78.
関西電力金品授受問題への見解：倫理委員会, 82.
- 談 話 室 一步一步の日常(2)：生きるために必要なもの：口町和香, 84.
- 理事会だより 秋の大会理事会セッション報告：新堀雄一, 85.
- 会 報 原子力関係会議案内, 新入会一覧, 基金寄付者芳名一覧, 英文論文誌(Vol.58, No.1)目次, 主要会務, 編集後記, 編集関係者一覧, 86.

特集Ⅱ 福島原発事故とその後：有識者からのメッセージ

The Utilization of Risk Information in Japan：George Apostolakis, 90.

放射線被ばく問題と「信念の倫理」：一ノ瀬正樹, 92.

3・11と歴史の転換期：飯田哲也, 94.

原子力規制委員会の在り方：岡本孝司, 96.

「語りにくさ」を越えて 福島のことを伝える：大崎要一郎, 98.

原子力発電の衰退と後始末：大島堅一, 100.

事故から10年、今後の原子力のあり方：北村俊郎, 102.

安全性向上の諸方策の実装～個別的提言から統合へ：北村正晴, 104.

戦略も司令塔もなく漂流する原子力政策：橘川武郎, 106.

事故調査委員会報告書から考える：小出重幸, 108.

事故の教訓と反省をふまえ「マイナス」から再出発を：鈴木達治郎, 110.

新刊紹介 知ってますか？理系研究の“常識”——研究・論文・プレゼンの作法——：亀山高範, 112.

継続的な安全性向上について——IRRS, 検査制度, IRIDM 標準を経て——：関村直人, 113.

自由な発想と全体を見通す目：関本博, 115.

原子力再興に向け新しい「物語」を語る：滝順一, 117.

原子力安全向上と将来を担う人材育成：竹田敏一, 119.

1F事故と原子力：松井一秋, 121.

1F事故が示唆していること：松浦祥次郎, 123.

次の10年に向かって：松田尚樹, 125.

それでも脱原発をめざすべき三つの理由：村山知博, 127.

日本の原子力産業の国際展開再挑戦はあるか：村上朋子, 129.

原子力安全の歴史のはじまり：山口彰, 131.

原子力災害医療の基軸と人材育成の課題解決に向けて：山下俊一, 133.

東日本大震災が日本経済に残した爪痕：山本隆三, 135.

事故の教訓としての組織レジリエンス：吉澤厚文, 137.

教養と工学・欲望と抑制：和田章, 139.

座談会 核燃料サイクルのリアリティ：佐治悦郎, 佐田務, 田中治邦, 福田龍, 堀内知英, 澤田哲生, 141.

時論 持続可能社会の実現に向けたシナリオにおける原子力の役割：秋元圭吾, 152.

文献調査とは何か——その意義と今後の活動：伊藤眞一, 154.

NEWS 原子力界における最近の動き・国内, 海外情報, 156.

特集 がんリスク評価にパラダイムシフトをもたらす幹細胞生物学

(1) 幹細胞とがん幹細胞：石田健二, 岩井敏, 原口和之, 賞雅朝子, 當麻秀樹, 162.

(2) ICRP Publication 131を読み解く：石田健二, 岩井敏, 原口和之, 賞雅朝子, 當麻秀樹, 168.

(3) 細胞競合の基本原則と今後の課題：石田健二, 岩井敏, 原口和之, 賞雅朝子, 當麻秀樹, 174.

コラム 若者たちの座談会：井内千穂, 177.

寿都町の入学手続き：上野和花, 177.

COVID-19から見た科学技術のあり方：佐々木帆南, 178.

学会事故調提言の一丁目一番地：佐治悦郎, 178.

持続可能な社会を目指して4～未来を託す～：野ヶ山康弘, 179.

「伝わる」ための位置関係：服部美咲, 179.

Focus 原子力関連国際機関の最近の動向と日本からの期待(4)：NEAにおける原子力の将来像の探求とその実現にむけた取り組み：後藤弘行, 岡島智史, 180.

ジャーナリストの視点 今日もつづいています, 『化学』：伊地知英明, 185.

理事会だより 2050年に向けての原子力学術の貢献：山口彰, 186.

会告 代議員選挙について(投票のお願い)：選挙管理委員会, 187.

会報 原子力関係会議案内, 新入会一覧, 寄贈本一覧, 学会誌J-STAGEでの公開期間・対象変更のご案内, 会告 倫

No.3 (3月号)

- 特集Ⅲ 福島原発事故とその後; 国内の主要学会からのメッセージ(1)
福島原発事故から10年の物理学活動振り返る: 永江知文, 194.
日本保健物理学会のスコープと最近の活動動向: 飯本武志, 高橋史明, 196.
日本のエネルギー需給と電気学会の取り組み: 蘆立修一, 198.
福島第一原子力発電所事故の教訓と展望: 齊藤正樹, 200.
日本放射線影響学会の取り組み: 島田義也, 田内広, 宇佐美徳子, 松本英樹, 松本義久, 小嶋光明, 笹谷めぐみ, 島田幹男, 砂押正章, 203.
日本放射化学会の活動紹介: 五十嵐康人, 田上恵子, 高宮幸一, 篠原厚, 205.
「廃炉地盤工学」の実践と最新の技術開発動向: 小峯秀雄, 209.
電力安定供給と地球温暖化抑制の両立に向けて: 牧野尚夫, 212.
原子力をめぐる課題: 内山洋司, 214.
原子力災害を巡る水文・水資源学会の取組: 近藤昭彦, 216.
日本救急医学会の取組と展望: 長谷川有史, 218.
日本放射線看護学会と福島原発事故: 草間朋子, 220.
手術室における放射性物質汚染・被ばく傷病者受け入れ対応: 貝沼純, ミルズしげ子, 223.
腐食防食学会の1Fの廃炉に向けた対応と今後: 山本正弘, 225.
日本混相流学会における原子力との強い関わり: 岩城智香子, 228.
風工学における汚染物質輸送解析と逆解析: 加藤信介, 230.
日本造園学会の十年一復興のランドスケープ: 柴田昌三, 232.
福島原発事故に対する日本土壌肥料学会の取り組み: 波多野隆介, 236.
農業農村工学会の取り組み: 平松和昭, 239.
福島県「こどもの育ち」への支援プロジェクト: 小澤紀美子, 241.
『年報科学・技術・社会』にみる原子力: 科学社会学会理事会, 243.
電動自動車と原子力発電でCO₂削減はできるか?: 畑村洋太郎, 飯野謙次, 245.
原発避難者の生活再建と被災地の地域経済復興: 山川充夫, 247.
- 時 論 新潟県技術委員会による1F事故の検証報告: 中島健, 249.
- NEWS 原子力界における最近の動き・国内, 海外情報, 251.
- 特 集 「1F 廃炉検討委員会」現地状況および活動報告
(1) 福島第一原子力発電所の廃炉のための技術戦略: 中村紀吉, 256.
(2) IRID の研究開発概況: 奥住直明, 260.
(3) 学会廃炉委における廃棄物の取り組みと今後について: 新堀雄一, 263.
- 解 説 ドイツのエネルギー転換の行方～脱原子力そして脱石炭は成功するか～: 黒田雄二, 267.
ナノ微粒子支援型レーザー脱離イオン化質量分析(Nano-PALDI MS): 測れない物を測る。見えない物を見る。: 平修, 272.
From Editors, 277.
- Focus 原子力関連国際機関の最近の動向と日本からの期待(5): NEA における原子力科学, データバンクの活動動向: 津田修一, 須山賢也, 278.
- 報 告 IEA「クリーンエネルギーの進展評価」; 持続可能な開発に向けた原子力の取組状況と今後の推奨事項: 大野薫, 283.
- コ ラ ム つくる責任, つかう責任～「自分ごと」として原子力を見つめる～: 今中咲幸, 287.
持続可能な社会を目指して5～誰のため?～: 野ヶ山康弘, 287.
怒り続けるためには: 服部杏菜, 288.
科学と社会: 坂東昌子, 288.
東京のスタチ: 松本杏奈, 289.
ものごとをシステミックに見る: 山口彰, 289.
- 理事会だより 原発事故から10年を迎えるにあたり: 中山真一, 290.

- 会 告 2021 年度新役員候補者募集のお知らせ, 291.
- 会 報 原子力関係会議案内, 共催行事, 新入会一覧, 「原子力学生国際交流事業」派遣学生次年度のご案内について, 訃報, Editor's Choice, 英文論文誌 (Vol.58, No.3) 目次, 和文論文誌 (Vol.20, No.1) 目次, 主要会務, 編集後記, 編集関係者一覧, J-STAGE 閲覧 ID・パスワード, 292.

No.4 (4月号)

- 特 集 IV 福島原発事故とその後：国内の主要学会からのメッセージ(2)
- 保全活動の高度化・体系化への取組：山口篤憲, 298.
- 環境放射能問題, 除染から中間貯蔵, 環境再生へ：大迫政浩, 300.
- 東日本大震災後における日本応用地質学会の取り組み：長田昌彦, 302.
- この10年の日本地震学会の取組と地震研究の進展：小原一成, 304.
- 日本ロボット学会の取組：吉見卓, 細田祐司, 306.
- 東日本大震災10年：日本地球惑星科学連合の対応：奥村晃史, 308.
- 安全工学と社会総合リスク：三宅淳巳, 310.
- 計測自動制御学会における計測と安全への取り組み：小野晃, 312.
- 日本公衆衛生学会の東日本大震災後の対応：磯博康, 314.
- 福島復興に向けての化学工学会の活動：石戸利典, 316.
- 放射性物質拡散予測モデルの不確実性の低減と活用：近藤裕昭, 岩崎俊樹, 佐藤陽祐, 関山剛, 滝川雅之, 新野宏, 鶴田治雄, 山澤弘実, 塩谷雅人, 318.
- 廃棄物資源循環学からの汚染廃棄物への対処：大迫政浩, 321.
- 日本森林学会と森林の原子力災害：大久保達弘, 323.
- 東日本大震災における先遣隊・プロジェクト活動：酒井明子, 325.
- 環境・エネルギー問題と持続可能な社会の構築：上園昌武, 327.
- 避難者の生活を追い社会的影響を探究し続ける社会学：浦野正樹, 329.
- 公益社団法人日本心理学会の取り組み：岡隆, 331.
- NEWS 原子力界における最近の動き・国内, 海外情報, 333.
- 解説シリーズ 最先端の研究開発 日本原子力研究開発機構(8/最終回)：原子力規制と防災を支援するための安全研究：中村武彦, 李銀生, 丸山結, 杉山智之, 田中忠夫, 宗像雅広, 鬼沢邦雄, 西山裕孝, 338.
- 世界情勢の構造的変化とエネルギー(3)：再生可能エネルギーを巡る課題(1)：小宮山涼一, 344.
- 連載講座 多様な原子燃料の概念と基礎設計(1)：軽水炉燃料の設計と開発経緯：宇埜正美, 大脇理夫, 谷口良則, 349.
- 報 告 わが国における大学等核燃およびRI研究施設の現状と新規制への対応について：日本原子力学会「原子力アゴラ」調査専門委員会 大学等核燃およびRI研究施設検討・提言分科会, 353.
- コ ラ ム 難解な社会課題と向き合うこと：小澤杏子, 358.
- 賭けと信頼：越智小枝, 358.
- 採点の季節：菅原慎悦, 359.
- スロバキアから福島へ(2)：妹尾優希, 359.
- 結論が出なくても話し続ける：鳥居千智, 360.
- 持続可能な社会を目指して6～教育の役割と責任～：野ヶ山康弘, 360.
- 理事会だより コロナ禍下での支部活動：澤和弘, 361.
- From Editors, 362.

- 会 報 原子力関係会議案内, 次年度会費請求のお知らせ, 第53回(2020年度)日本原子力学会賞受賞一覧, 各部会部会賞受賞一覧, 2020年度JNST賞受賞一覧, 2021年度新規フェロー, 2020年度日本原子力学会フェロー賞受賞者一覧, 2021年度永年・シルバー会員一覧, 英文論文誌 (Vol.58, No.4) 目次, 主要会務, 編集後記, 編集関係者一覧, J-STAGE 閲覧 ID・パスワード, 363.

No.5 (5月号)

- 巻 頭 言 バイデン政権で何が変わるのか—世界情勢とエネルギー事情—：宮家邦彦, 373.
- 時 論 原子力と気候変動：有馬純, 374.
- NEWS 原子力界における最近の動き・国内, 海外情報, 376.

特集 V 福島原発事故とその後

福島原発事故 10 年検証委員会は何を明らかにしたか：鈴木一人，383.

福島原発事故から 10 年で思うこと：畑村洋太郎，388.

特集 放射性核種の摂取量の評価方法

(1) 内部被ばくの体内動態モデル：岩井敏，熊澤蕃，石田健二，高木俊治，猪狩貴史，早川信博，391.

(2) 摂取量推定法の定式化：岩井敏，熊澤蕃，石田健二，高木俊治，猪狩貴史，早川信博，395.

(3) モンテカルロ法等を用いた摂取量算定：岩井敏，熊澤蕃，石田健二，高木俊治，猪狩貴史，早川信博，399.

解説 地球温暖化による降水の激甚化(令和 2 年 7 月豪雨に見る豪雨の未来)：大庭雅道，筒井純一，405.

連載講座 多様な原子燃料の概念と基礎設計(2)：軽水炉燃料のふるまい：草ヶ谷和幸，下村尚志，411.

報告 遮へいに関する OECD/NEA 積分実験データベースの技術評価グループ活動について：津田修一，415.

From Editors, 419.

学会誌アンケート結果のまとめ 2020 年 1 月～2020 年 12 月号：佐田務，小林容子，420.

コラム 「地層処分」に教育の今後を見出す：浅井佑記範，423.

対話にはエネルギーが要る：井内千穂，423.

中学生サミット 2020 に参加して：上野和花，424.

トランスサイエンスのさらにその先を考える：佐治悦郎，424.

液化化する社会：佐田務，425.

一番最後を走る人の傍らで：服部美咲，425.

理事会により 倫理委員会の活動：土田昭司，426.

会告 2021 年度新役員候補者投票のお願い，427.

2021・2022 年度代議員選挙結果の報告，429.

論文誌編集委員会からのお知らせ，430.

会報 原子力関係会議案内，新入会一覧，人事公募，「2021 年秋の大会」開催に関するお知らせ，「2021 年春の年会」学生ポスターセッション受賞者一覧，英文論文誌(Vol.50, No.5)目次，主要会務，編集後記，編集関係者一覧，J-STAGE 閲覧 ID・パスワード，431.

第 53 回(2020 年度)日本原子力学会賞受賞概要(後付)

No.6 (6 月号)

巻頭言 脱炭素の要請と原子力の意義：安井至，435.

時論 福島第一原子力発電所を文化遺産へ：吉川彰浩，436.

NEWS 原子力界における最近の動き・国内，海外情報，438.

特集 VI 福島原発事故とその後：原子力学会の取り組み

原子力学会，1F 事故後の取組を総括

I. 1F 事故に対する反省と提言フォローアップ：事故調提言フォロー WG，445.

II. 1F 事故 10 年一廃炉委員会の報告：廃炉検討委員会，455.

III. 福島プロジェクトの報告：福島特別プロジェクト，460.

解説 福島第一原子力発電所の廃炉に伴って発生する廃棄物の現状と今後～次なるステップへの挑戦～

Part I 福島第一原子力発電所廃炉における廃棄物の現状と将来：加藤和之，465.

Part II 福島第一原子力発電所廃炉に関する研究開発動向：松本昌昭，元田謙太郎，468.

Part III 固体廃棄物の処理・処分に関する研究開発：吉川英樹，青木義雄，高守謙郎，471.

中性子標準の開発の現状と応用：松本哲郎，増田明彦，原野英樹，480.

連載講座 多様な原子燃料の概念と基礎設計(3)：高速炉燃料(MOX 燃料)：前田誠一郎，皆藤威二，小澤隆之，485.

INTERVIEW 日本の原子力発電黎明期を知る東京電力 OB が語る：澤口祐介氏に聞く：澤田哲生，491.

コラム 福島で学ぶ福島～高校生の感覚 大人の感覚～：石井伸弥，493.

当事者意識を持たせる方法～情報発信に目を向けて～：今中咲幸，493.

女の子なのにえらい そのころは：服部杏葉，494.

万人の科学とは：坂東昌子，494.

大人と Z 世代：松本杏奈，495.

自主的・継続的安全確保とカーボンニュートラル：山口彰，495.

視点(社会)を語る (12/最終回)；〈社会調査で得られる社会像〉と〈リアルな社会〉のあいだに生じる不可避のズレ：齋藤圭介，496.

新刊紹介 放射線の影響がわかる本(2020 改訂版)：富田雅典，497.

From Editors, 497.

理事会だより 学会誌と論文誌：伊藤主税，498.

会 告 一般社団法人日本原子力学会「第 11 回総会」のご通知，499.

編集委員会からのお知らせ，500.

会 報 原子力関係会議案内，人事公募，寄贈本一覧，2021 年度会費ご納入のお願い，英文論文誌(Vol.58, No.6)目次，和文論文誌(Vol.20, No.2)目次，主要会務，編集後記，編集関係者一覧，J-STAGE 閲覧 ID・パスワード，501.

No.7 (7 月号)

巻 頭 言 日本経済は中国にのまれるのか：加藤康子，505.

時 論 発電コスト評価と電源別限界費用：松尾雄司，507.

今後の研究開発に関する視点：藤田玲子，509.

NEWS 原子力界における最近の動き・国内，海外情報，511.

特 集 熱流動とリスク評価

I. リスク評価における熱流動解析の役割：丸山結，吉田一雄，517.

II. 原子炉熱流動解析からリスク評価への展開：宇井淳，523.

新刊紹介 鋼鉄と電子の塔 いかに科学技術を語り，科学技術とともに歩むか：吉田正，528.

III. 企画セッション討論の概要と今後の展開：成宮祥介，529.

解 説 宇宙・惑星などあらゆる環境での中性子起因半導体ソフトエラー故障数を算出可能に；飛行時間法による半導体ソフトエラー断面積測定：岩下秀徳，佐藤博隆，鬼柳善明，531.

From Editors, 535.

廃炉技術の研究開発の進捗：成果と課題：野田耕一，536.

連載講座 多様な原子燃料の概念と基礎設計(4)；高速炉用金属燃料と ADS 用窒化物燃料：尾形孝成，高野公秀，541.

報 告 「シビアアクシデント時の FP 挙動」研究専門委員会の活動実績と次期研究専門委員会への展開：「シビアアクシデント時の核分裂生成物挙動」研究専門委員会，547.

コ ラ ム 井の中の蛙に学ぶ：越智小枝，552.

私たちの「普通」とは？：佐々木帆南，552.

C.J. スタンダーの決断：菅原慎悦，553.

双葉病院を訪問して(1)：妹尾優希，553.

原因を突き詰めすぎない：鳥居千智，554.

科学者と市民の対話 1：野ヶ山康弘，554.

談 話 室 一步一步の日常(3)；アフターコロナ研究想：口町和香，555.

理事会だより 春の年会理事会セッション報告：川村慎一，556.

編集委員会からのお知らせ，557.

会 報 原子力関係会議案内，寄贈本一覧，誤記訂正，2021 年度会費ご納入のお願い，英文論文誌(Vol.58, No.7)目次，主要会務，編集後記，編集関係者一覧，J-STAGE 閲覧 ID・パスワード，558.

第 11 回総会資料(後付)

No.8 (8 月号)

巻 頭 言 COP26: Time to rethink nuclear and radiation：Mary Lou Dunzik-Gougar，561.

時 論 地域との対話が目指すものはなにか：竹田宜人，563.

NEWS 原子力界における最近の動き・国内，海外情報，565.

特 集 SMR 等革新炉の安全と安全規制について

安全部会主催セミナー結果報告：関村直人，森山善範，571.

原子力イノベーションの追求：舟木健太郎，575.

海外で検討が進んでいる革新炉の安全設計の特徴等について(事例紹介：NuScale)：吉田英爾，柳澤宏昌，田辺雅幸，森本泰臣，伊地知雅典，小池大介，Paul Boyadjian，Tamas Liszkai，580.

- 海外検討 革新炉の安全設計の特徴等について(事例報告:BWRX-300):松浦正義, 木藤和明, 佐藤憲一, 585.
 高温ガス炉に関する取り組み—安全設計要件の検討など—:大橋弘史, 590.
 諸外国における革新炉に関する規制動向:鈴木清照, 595.
- 解 説 Wisdom of Crowds 論から考える討議デモクラシーの可能性:松井亮太, 600.
- 解説シリーズ 世界情勢の構造的変化とエネルギー(4);再生可能エネルギーを巡る課題(2):小宮山涼一, 605.
- 報 告 ウラン廃棄物処分における人文・社会科学的検討の必要性:保田浩志, 麓弘道, 齋藤龍郎, 610.
- 連載講座 多様な原子燃料の概念と基礎設計(5);高温ガス炉と熔融塩炉の燃料:植田祥平, 佐々木孔英, 有田裕二, 615.
 From Editors, 620.
- コ ラ ム クリアランスベンチに教育の目標を見出す:浅井佑記範, 621.
 風評被害のすれ違い:井内千穂, 621.
 地層処分問題をこれからも考え続けるために:今泉友里, 622.
 原発の今後と核のゴミ:上野和花, 622.
 「正論」のすすめ” ふたたび:佐治悦郎, 623.
 「叡智」を活かす— UNSCEAR2020 報告書:服部美咲, 623.
- 理事会だより コロナ禍の1年を振り返って:佐相邦英, 624.
- 会 報 原子力関係会議案内, 新入会一覧, 2021 年度役員紹介, 第 54 回(2021 年度)学会賞受賞候補者推薦募集, 英文論文誌(Vol.58, No.8)目次, 主要会務, 編集後記, 編集関係者一覧, J-STAGE 閲覧 ID・パスワード, 625.

No.9 (9 月号)

- 新会長あいさつ 原子力の未来のすがたの再構築に向けて:山口彰, 629.
- 巻 頭 言 2050 年に向け, 原子力政策に望むこと:新井史朗, 630.
- 時 論 文献調査の受け入れ自治体に敬意と感謝を:近藤駿介, 631.
 いま求められる〈自分ごと〉化から〈Ours(私たちごと)〉化—放射性廃棄物の最終処分問題を巡って—:石崎悠也, 633.
- NEWS 原子力界における最近の動き・国内, 海外情報, 635.
- 特 集 プラント運営・保守管理へのリスク情報活用の取り組み状況
 (1)リスク情報活用 技術開発と実機適用:古田泰, 640.
 (2)関西電力におけるリスク情報活用の状況について:榎本晋嗣, 菅原淳, 丸山雄大, 645.
 (3)東京電力におけるリスク情報活用の状況について:富安亮太, 平出真之, 648.
- 解 説 原子力施設におけるサイバーセキュリティの現状;システムベンダーより見た現状と将来展望:石場光朗, 653.
 世界初のホウ素中性子捕捉療法(BNCT)治療システムの開発;医療機関における加速器 BNCT の保険診療開始:田中浩基, 密本俊典, 呼尚徳, 657.
 日本原子力学会倫理規程の改定;2021 年改定の概要:倫理委員会, 661.
- 報 告 当事者の視点から 2050 年の原子力像を考える:村上健太, 寺田和司, 竹田敏, 羽倉尚人, 665.
- 連載講座 多様な原子燃料の概念と基礎設計(6/最終回);新しい原子炉のための核燃料開発:黒崎健, 669.
- コ ラ ム 福島で学ぶ福島 2—実物を目にした高校生—:石井伸弥, 674.
 科学的に物事を捉える重要性:今中咲幸, 674.
 福島を外から見るとのこと:服部杏菜, 675.
 Wolfgang Weiss 博士を思う:坂東昌子, 675.
 学問に背景は必要か:松本杏奈, 676.
 統計と確率と確率論的リスク評価:山口彰, 676.
- Short Report 原子力安全と核セキュリティのインターフェース:玉井広史, 677.
- 私の主張 Cs 含有微粒子はいかに生成したか?—学際研究者の推理—:日高昭秀, 679.
- 新刊紹介 ウランの化学(Ⅱ)—方法と実践—:坂村義治, 681.
 From Editors, 681.
- ジャーナリストの視点 地層処分をめぐる幻想について:山田孝男, 682.
- 理事会だより 2021 年度(令和 3 年度)新たな体制で活動開始:佐相邦英, 683.
- 会 告 日本原子力学会倫理規程, 684.
- 会 報 原子力関係会議案内, 寄贈本一覧, 新入会一覧, 英文論文誌(Vol.58, No.9)目次, 和文論文誌目次(Vol.20, No.3)

主要会務, 編集後記, 編集関係者一覧, J-STAGE 閲覧 ID・パスワード, 689.

No.10 (10月号)

- 巻頭言 ゼロカーボンエネルギー研究所の挑戦: 竹下健二, 693.
- 時 論 浮体構造による原子力発電所の画期的安全性向上: 姉川尚史, 694.
カーボンニュートラルにおける洋上風力への期待～果たして救世主となれるのか?～: 小野章昌, 696.
- NEWS 原子力界における最近の動き・国内, 海外情報, 698.
- 特 集 レジリエンスエンジニアリングの安全マネジメントへの応用のための課題と実践
レジリエンスエンジニアリングの応用での研究課題: 五福明夫, 703.
- 新刊紹介 森林の放射線生態学—福島森を考える—: 小沢晴司, 707.
セーフティⅡを目標とする安全マネジメントの実践: 芳賀繁, 708.
トリチウムの保健物理の最前線
原子力施設でのトリチウム発生: 波多野雄治, 713.
From Editors, 717.
トリチウムの体内動態研究: 増田毅, 718.
トリチウムの生体影響研究: 馬田敏幸, 723.
- 解 説 福島原発事故特集を総括する: 異分野との協働で新しい知の創発を: 佐田務, 728.
原子力クライシス時における住民への情報提供: 専門家が理解すべき安全情報のミスマッチ: 西澤真理子, 733.
- コ ラ ム 拡散と日常: 越智小枝, 738.
議論することの意義: 佐々木帆南, 738.
安全でも適切でもなく: 菅原慎悦, 739.
双葉病院を訪問して(2): 妹尾優希, 739.
疑うことと信頼: 鳥居千智, 740.
持続可能な社会を目指して7～大人が知るべきこと～: 野々山康弘, 740.
- 理事会だより 学会が持続的に活動する為の経営改善について: 川村慎一, 741.
- 会 報 原子力関係会議案内, 人事公募, 英文論文誌 (Vol.58, No.10) 目次, 主要会務, 編集後記, 編集関係者一覧,
J-STAGE 閲覧 ID・パスワード, 742.

No.11 (11月号)

- 巻頭言 日本はカーボンニュートラルを実現できるか: 藤村俊夫, 745.
- 時 論 反原発メディアとの向き合い方—対立ではなく, 面白い情報の提供を—: 石井孝明, 746.
- NEWS 原子力界における最近の動き・国内, 海外情報, 748.
- 特 集 日本の原子力・放射線教育の国際展開への貢献
1. アジア太平洋諸国への放射線教育の展開: 飯本武志, 高木利恵子, 掛布智久, 754.
2. 文部科学省委託事業放射線利用技術等国際交流(講師育成)の実績: 中野佳洋, 鈴木崇史, 入江勤, 加藤浩,
757.
3. 原子力発電新規導入国への人材育成に対する支援について: 鳥羽晃夫, 760.
4. 国際原子力人材育成大学連合ネットワークによる原子力教育基盤整備モデル事業: 竹下健二, 西村章, 762.
- 解 説 統合費用を含んだ電源別限界費用の評価—発電コスト検証ワーキンググループにおける議論を中心に—: 松尾
雄司, 765.
「健全な安全文化の育成と維持に係るガイド」における安全文化 10 特性および 43 属性: 高田博子, 770.
ガラス固化におけるイエローフェーズ形成とその抑制: 仮焼層でのナトリウムとの反応抑制の観点から: 宇留
賀和義, 宇佐見剛, 塚田毅志, 775.
LOCA 時燃料破断限界評価の信頼性向上を目指して: 不確かさ定量化手法の開発と高燃焼度化の影響評価: 成
川隆文, 780.
燃料被覆管の高温における延性-脆性遷移条件に関する研究—被覆管健全性判断基準の技術的根拠を掘り下げ
る—: 山内紹裕, 786.
- 報 告 熔融塩炉の最新開発状況: 山脇道夫, 望月弘保, 小山正史, 有田裕二, 三田地紘史, 島津洋一郎, 木下幹康,
吉岡律夫, 791.

From Editors, 796.

コ ラ ム 民俗学の視点から：浅井佑記範, 797.

「伝える」を前提とした学びの難しさ：雨宮ゆめ, 797.

地獄への道は「安心」で敷き詰められている：佐治悦郎, 798.

「みんなちがって、みんないい」体験：鈴木早苗, 798.

東京五輪はレガシーになれるのか：服部美咲, 799.

知る事で変わっていく意識：森夕乃, 799.

新刊紹介 東京電力福島第一原発事故から10年の知見：復興する福島の科学と倫理：佐田務, 800.

会 報 原子力関係会議案内, 人事公募, 新入会一覧, 寄贈本一覧, 「2022年春の年会」開催に関するお知らせ, 「2021年秋の大会」学生PS受賞者一覧, 英文論文誌(Vol.58, No.11)目次, 主要会務, 編集後記, 編集関係者一覧, J-STAGE 閲覧ID・パスワード, 801.

No.12 (12月号)

巻 頭 言 インターネット世論と社会物理学：全卓樹, 805.

時 論 カーボンニュートラル燃料への原子力「原子力水素は気候変動との戦いのゲームチェンジャー」(IAEA)：堀雅夫, 807.

NEWS 原子力界における最近の動き・国内, 海外情報, 809.

解 説 原子炉における機構論的限界熱流束評価技術の確立に向けて

(1)軽水炉燃料における現在の限界熱流束予測手法と課題：「原子炉における機構論的限界熱流束評価技術」研究専門委員会, 815.

(2)機構論的限界熱流束予測評価手法確立に向けた研究とその課題：「原子炉における機構論的限界熱流束評価技術」研究専門委員会, 820.

沸騰水型原子炉内を移行するセシウムの化学挙動評価に向けて；セシウムの化学挙動に与えるホウ素の影響評価：三輪周平, 宮原直哉, 中島邦久, 井元純平, 鈴木恵理子, 825.

解説シリーズ 世界情勢の構造的変化とエネルギー(5)；脱炭素技術の展望：水素, CCUS 技術：小宮山涼一, 830.

サイエンスよみもの 核分裂収率データ評価とその利用の半世紀：吉田正, 836.

From Editors, 840.

連載講座 オールジャパンでとりくむ地層処分のいま(1)；日本における地層処分計画の概要：杉山大輔, 佐々木隆之, 841.

コ ラ ム 時代を進める太刀：秋津裕, 846.

福島で学ぶ福島3～ことばにすること～：石井伸弥, 846.

『科学技術』とその未来：島袋慶子, 847.

「知ること」から「自分事」として考えるために：西川亜佑美, 847.

炎上に見る「議論を教育する」ことの重要性：服部杏葉, 848.

ポストコロナ：女性の眼差し：坂東昌子, 848.

Focus 倫理規程制定20年を迎えて(1)；倫理規程は必要ですか：中島健, 849.

新刊紹介 放射線・RI 利用一現状と将来：工藤久明, みんなで考えるトリチウム水問題：佐田務, 850.

理事会だより 2021年秋の大会オンライン開催報告：千葉敏, 851.

会 報 原子力関係会議案内, 人事公募, 新入会一覧, 寄贈本一覧, 2022年度フェロー候補推薦募集, 英文論文誌(Vol.58, No.12)目次, 和文論文誌(Vol.20, No.4)目次, 主要会務, 編集後記, 編集関係者一覧, J-STAGE 閲覧ID・パスワード, 852.

総目次・著者名索引(Vol.63, Nos.1～12)(後付)

日本原子力学会誌「アトモス」総目次 Vol.64, Nos. 1~12(2022)

ATOMOS (*Journal of the Atomic Energy Society of Japan*)

No.1 (1月号)

- INTERVIEW 概要調査に進む前に、住民投票を実施；寿都町長片岡春雄氏に聞く：聞き手 澤田哲生，1.
- 時 論 脱炭素時代における原子力発電の役割：山本隆三，3.
昨今のエネルギー情勢と国際政治：三浦瑠麗，5.
- NEWS 原子力界における最近の動き・国内，海外情報，7.
- 特 集 福島原発事故後10年間の放射線工学分野における活動と今後の展望
1. 福島第一における放射線計測・遮蔽に関する現状と今後の課題：高平史郎，12.
2. 事故後に開発・適用された放射線の計測・マッピング技術：鳥居建男，眞田幸尚，佐藤優樹，17.
3. 放射線遮蔽の知見による線源推定：平山英夫，23.
4. 企画セッションの開催報告：岩田圭弘，佐藤優樹，28.
- 解 説 マイナーアクチノイドおよび希土類元素の分離メカニズム解明に向けた密度汎関数研究：金子政志，30.
- 解説シリーズ 技術承継私塾 1. 加圧水型軽水炉用構造材料の高経年化と炉の安全性・信頼性評価(1)；Ni基合金の環境助長割れについて：米澤利夫，35.
From Editors，40.
- サイエンスよみもの 宇宙から飛来した放射性核種 Fe-60 と Pu-244：木下哲一，41.
- 連載講座 オールジャパンでとりくむ地層処分のいま(2)；地層処分に関する地質環境評価技術：三枝博光，松岡稔幸，丹羽正和，笹尾英嗣，早野明，46.
- 報 告 放射線防護規制の合理的発展に向けた取組み；最新知見の反映を目指した原子力規制庁の国際放射線防護調査：賞雅朝子，保田浩志，飯本武志，51.
- コ ラ ム 不幸から復興へ：越智小枝，56.
早く大人になりたい。：佐々木帆南，56.
エア引っ越しと文化論：菅原慎悦，57.
放射線医学オープンスクールに参加して(1)：妹尾優希，57.
最高のリベラルアーツ教材としての放射線：角山雄一，58.
自分の知識になる感覚：森夕乃，58.
- Focus 倫理規程制定20年を迎えて(2)；倫理を見つめなおして：上坂充，59.
- 理事会だより 秋の大会理事会セッション報告：新堀雄一，60.
- 会 報 原子力関係会議案内，新入会一覧，基金寄付者芳名一覧，Editor's Choice，英文論文誌(Vol.59, No.1)目次，主要会務，編集後記，編集関係者一覧，Vol.64(2022)，No.1 J-STAGE 閲覧ID・パスワード，61.

No.2 (2月号)

- 巻 頭 言 脱炭素社会実現と国力維持・向上のためには最新型原子力リプレースは不可欠：滝波宏文，65.
- 時 論 福井県で育った大学生が見た福島県：軽部由菜，66.
- NEWS 原子力界における最近の動き・国内，海外情報，68.
- 特 集 原子力イノベーションを支える最新の新型炉開発の状況
1. 最新の国内外の新型炉開発の状況：山野秀将，稲葉良知，74.
2. 早期実用化と機動的運用が可能な蓄熱型小型モジュール高温ガス炉：鈴木哲，田邊賢一，79.
- 解 説 大気拡散モデルの原発事故環境データによる評価とその緊急時応用：山澤弘実，84.
- 解説シリーズ 最先端の研究開発 理化学研究所ほか(1)；スーパーコンピュータ「富岳」の冷却システム；急峻な大規模熱負荷変動への対応：塚本俊之，89.
世界情勢の構造的変化とエネルギー(6/最終回)；新たな局面を迎えるエネルギー情勢：小宮山涼一，94.
- 解説シリーズ 技術承継私塾 1. 加圧水型軽水炉用構造材料の高経年化と炉の安全性・信頼性評価(2)；TT690合金の高経年化に伴う環境助長割れ感受性・き裂進展速度増大等の可能性について：米澤利夫，100.

- 連載講座** オールジャパンでとりくむ地層処分のいま(3)；処分場の設計と工学技術(その1)：山本陽一，小川裕輔，小林正人，高山裕介，西本壮志，105.
- 報告** 大学等核燃およびRI研究施設の課題と提言：日本原子力学会「原子力アゴラ」調査専門委員会大学等核燃およびRI研究施設検討・提言分科会，110.
- コラム** 新科目「公共」をひかえて：浅井佑記範，115.
科学的知見と科学者の信条：井内千穂，115.
財政破綻リスクの議論に思う：佐治悦郎，116.
新しい視点の取り入れ方：鳥居千智，116.
「不発」の冷笑：服部美咲，117.
米国で出会った忘れられない人々：山田理恵，117.
- 視点** 〈社会〉を心理学から読み解く(1)；社会的促進と社会的手抜き：秋保亮太，118.
- Focus** 倫理規程制定20年を迎えて(3)；継続的な安全性向上を担う標準と倫理：関村直人，119.
- Short Report** 「未来の原子力・放射線利用」アイデア募集まとめ：編集委員会，120.
- ジャーナリストの視点** COP26後の世界に起きている構造変化：滝順一，121.
- 理事会だより** 学会の垣根を下げ裾野を広げる：佐治悦郎，122.
- 会報** 原子力関係会議案内，人事公募，Editor's Choice，英文論文誌(Vol.59, No.2)目次，主要会務，編集後記，編集関係者一覧，Vol.64(2022)，No.2 J-STAGE 閲覧ID・パスワード，123.

No.3 (3月号)

- 巻頭言** 富岡町の復興・帰還の現状と課題：山本育男，127.
- 時論** グリーントランジションに向けたSMR開発：久持康平，128.
これまでの双葉町のあゆみとこれから：橋本靖治，130.
- NEWS** 原子力界における最近の動き・国内，海外情報，132.
- 特集** 福島第一原子力発電所；事故後10年の歩み：佐藤学，川崎晋平，137
原子力イノベーションを支える最新の新型炉開発の状況
3. 炉心溶融のない高温ガス炉コジェネプラント：須山和昌，大西宏行，倉林薫，中野敬之，米元聡志，145.
4. 国内燃料サイクル柔軟性拡大へ寄与する軽水冷却高速炉：日野哲士，土屋暁之，曾根田秀夫，149.
- 解説シリーズ** 最先端の研究開発 理化学研究所ほか(2)；第一原理シミュレーションで挑む核燃焼プラズマ閉じ込めの物理：渡邊智彦，井戸村泰宏，藤堂泰，本多充，152.
- 解説シリーズ** 技術承継私塾 1. 加圧水型軽水炉用構造材料の高経年化と炉の安全性・信頼性評価(3)；ステンレス鋼，炭素鋼，低合金鋼の高経年化に伴う環境助長割れ感受性・き裂進展速度増大等の可能性について：米澤利夫，157.
- 連載講座** オールジャパンでとりくむ地層処分のいま(4)；処分場の設計と工学技術(その2)：本島貴之，松井裕哉，川久保政洋，小林正人，市村哲大，杉田裕，163.
- コラム** 学生連絡会での活動の振り返りと今後について：岡村知拓，168.
情報化社会で生きるための適切な判断力：西川亜佑美，168.
福島とツクシマの距離：服部杏菜，169.
湯川博士の贈り物：坂東昌子，169.
持続可能な放射線教育を目指して：山口克彦，170.
From Editors，170.
- 私の主張** リスクコミュニケーション不全：西澤真理子，171.
- Short Report** 双葉の復興をこの目で見て：鈴木早苗，173.
- Focus** 倫理規程制定20年を迎えて(4)；「水は水，どこまでも水，完全に自由」：山本章夫，176.
- 視点** 〈社会〉を心理学から読み解く(2)；内集団と外集団：秋保亮太，177.
- 理事会だより** 教育委員会の活動について：池田伸夫，178.
- 会告** 2022年度新役員候補者募集のお知らせ，179.
- 会報** 原子力関係会議案内，人事公募，新入会一覧，英文論文誌(Vol.50, No.10)目次，和文論文誌(Vol.21, No.1)目次，主要会務，編集後記，編集関係者一覧，Vol.64(2022)，No.3 J-STAGE 閲覧ID・パスワード，180.
- 追悼** 「住田健二先生のご逝去を悼む」：宮崎慶次，181.

No.4 (4月号)

- 巻頭言 双葉町の復興の現状と課題：伊澤史朗，185.
- 時 論 露字紛争という現実が照らす世界的脱原発論の虚実：山本一郎，186.
- NEWS 原子力界における最近の動き・国内，海外情報，188.
- 特 集 エネルギー基本計画の見直しを見据えた産業界の安全性向上に係る自主的な取り組み
1. 安全性向上のための ATENA の取り組み：鈴木孝守，193.
 2. 安全性向上のための JANSI の取り組み：渥美法雄，195.
 3. 中部電力における自主的安全性向上の取り組み：堤喜隆，197.
- 原子力イノベーションを支える最新の新型炉開発の状況
5. 安全性・信頼性を高めた小型ナトリウム冷却高速炉：坂場弘，200.
 6. 固有安全性を活用した革新的金属燃料小型ナトリウム冷却高速炉：中原宏尊，203.
- 解 説 2種類の軽量可搬型中性子サーベイメータの開発：使用者の負荷を軽減するために：布宮智也，中村尚司，山村精仁，206.
- 解説シリーズ 最先端の研究開発 理化学研究所ほか(3)；核破碎反応による同位体毎断面積測定：大津秀暁，211.
- 解説シリーズ 技術承継私塾 2. 沸騰水型軽水炉用構造材料の高経年化と炉の安全性・信頼性評価(1)；低炭素ステンレス鋼の応力腐食割れについて：鈴木俊一，216.
- 連載講座 オールジャパンでとりくむ地層処分のいま(5)；処分場閉鎖後の安全評価(その1)：石田圭輔，三ツ井誠一郎，221.
- 報 告 COP26における Nuclear for Climate(N4C)の活動とSDGs達成への原子力の貢献に関する理解促進：山田敬，227.
- コ ラ ム 「伝える」先の「伝わる」へ：今中咲幸，230.
- 「エッセンシャルワーカー」の違和感：越智小枝，230.
- だれに，なにを，伝えたいのか？：小出重幸，231.
- 「見ざる，言わざる，聞かざる」：佐々木帆南，231.
- 学びの本意：島袋慶子，232.
- 夜更けのビールで消せぬもの：菅原慎悦，232.
- 放射線医学オープンスクールに参加して(2)：妹尾優希，233.
- 新刊紹介 「ニホニウム」—超重元素・超重核の物理—：吉田正，233.
- 私の主張 核兵器禁止条約は日本を守るか：佐野利男，234.
- 視 点 〈社会〉を心理学から読み解く(3)；集団規範と社会規範：秋保亮太，236.
- Focus 倫理規程制定20年を迎えて(5)；将来世代に対する倫理：土田昭司，237.
- 理事会だより 支部活動の今後の在り方を考える：山岡聖典，238.
- お知らせ 「会友制度をスタートしました！」，239.
- 会 報 原子力関係会議案内，寄贈本一覧，2022年度会費ご納入のお願い，第54回(2021年度)日本原子力会賞受賞一覧，各部会賞受賞一覧，2021年度JNST賞受賞一覧，2022年度新規フェロー一覧，2021年度(第15回)日本原子力学会フェロー賞受賞者一覧，2022年度永年・シルバー会員一覧，英文論文誌(Vol.59, No.4)目次，主要会務，編集後記，編集関係者一覧，Vol.64(2022)，No.4 J-STAGE 閲覧ID・パスワード，240.

No.5 (5月号)

- 巻頭言 タブーの殻に閉じこもる国：大石久和，251.
- 時 論 復興へ対話重ねたい：西本由美子，252.
- NEWS 原子力界における最近の動き・国内，海外情報，254.
- 特 集 外的事象に対する原子力発電所の安全対策とリスクマネジメント
1. 安全部会WGでとりまとめた外的事象に関する今後の課題：宮田浩一，糸井達哉，260.
 2. 事業者における取り組み：国政武史，鈴江和昌，西川武史，265.
- From Editors，264.
3. 規制における取り組み：谷川泰淳，268.
 4. 抽出された論点に関する総合的な議論の報告：村上健太，山本章夫，272.

解説シリーズ	最先端の研究開発 理化学研究所ほか(4/最終回)；放射性廃棄物の処理を可能にする 1A 加速器の開発：奥野広樹, 275.
解説シリーズ	技術承継私塾 2. 沸騰水型軽水炉用構造材料の高経年化と炉の安全性・信頼性評価(2)；ステンレス鋼の照射誘起応力腐食割れについて：鈴木俊一, 280.
サイエンスよみもの	重力波天文学；重力波望遠鏡の原理と感度向上技術：Dan Chen, 澤田崇広, 285.
連載講座	オールジャパンでとりくむ地層処分のいま(6)；処分場閉鎖後の安全評価(その2)：館幸男, 齊藤拓巳, 桐島陽, 290.
Short Report	至近のアンケート回答をまとめました：編集委員会, 296.
コラム	多様性を受け入れるということ：浅井佑記範, 297. 会って見たら意外と良い人たちだった：井内千穂, 297. 意識差が無いなかでの違い：今泉友里, 298. 「利用のための規制」であることの難しさ：佐治悦郎, 298. 「県外の人に伝えたいこと」に見た福島への誇り：服部美咲, 299. 原発立地県のある医師の話：山田理恵, 299.
視点	〈社会〉を心理学から読み解く(4)；援助行動と傍観者効果：秋保亮太, 300.
Focus	倫理規程制定 20 年を迎えて(6)；公衆優先原則の始まりを確かめる：杉原桂太, 301.
学会誌アーカイブ I	(1959～1960 年)；草創期の先人たちの取り組みと意思：佐田務, 302.
理事会だより	原子力総合シンポジウム；福島第一原子力発電所事故から 10 年の今、考える事：中山真一, 304.
会告	2022 年度新役員候補者投票のお願い：一般社団法人日本原子力学会理事会, 305.
会報	原子力関係会議案内, 人事公募, 「2022 年秋の大会」開催に関するお知らせ, 新入会一覧, 英文論文誌 (Vol.59, No.5) 目次, 主要会務, 編集後記, 編集関係者一覧, Vol.64(2022), No.5 J-STAGE 閲覧 ID・パスワード, 307.
第 54 回(2021 年度)日本原子力学会賞受賞概要(後付)	

No.6 (6 月号)

巻頭言	ドイツ緑の党・その亡国のエネルギー政策：川口マーン恵美, 311.
時論	ロシアのウクライナ侵略が深めたエネルギー危機：山本隆三, 312. 神恵内にとって忘れられない日：池本美紀, 314.
NEWS	原子力界における最近の動き・国内, 海外情報, 316.
解説	ダイヤモンド放射線検出器の開発(1)；理想のダイヤモンドを求めて：金子純一, 321. 原子核理論の進展と核データ開発の接点について：河野俊彦, 326. From Editors, 330.
解説シリーズ	技術承継私塾 2. 沸騰水型軽水炉用構造材料の高経年化と炉の安全性・信頼性評価(3)；BWR 耐圧部材料の環境助長割れについて：鈴木俊一, 331.
サイエンスよみもの	重力波天文学；重力波望遠鏡のデータ解析と観測結果：Dan Chen, 澤田崇広, 337.
連載講座	オールジャパンでとりくむ地層処分のいま(7)；地層処分計画における「セーフティケース」：梅木博之, 藤山哲雄, 朽山修, 342.
報告	「福島第一原子力発電所事故に関する洞察」；日本原子力学会が日本語で出版した科学者と技術者による事故後 5 年間の論説の英文アーカイブ報告書の発刊：大貫敏彦, 矢野豊彦, 山野直樹, 348.
Short Report	原子力はグリーンか？；欧州におけるタクソノミー議論：山崎正俊, 353. 日本原子力研究開発機構「原子力平和利用と核不拡散・核セキュリティに係る国際フォーラム」：堀雅人, 356.
コラム	NMB コードを無償で公開！：岡村知拓, 359. コロナと環境：島袋慶子, 359. 発明と多様性：鳥居千智, 360. 重い原子核：坂東昌子, 360. 一般理系学生への放射線教育：山口克彦, 361.
視点	〈社会〉を心理学から読み解く(5)；囚人のジレンマと社会的ジレンマ：秋保亮太, 362.
Focus	倫理規程制定 20 年を迎えて(7)；倫理規程の遵守と「いろは歌」の精神：山下俊一, 363.
学会誌アーカイブ II	(1961～1965 年)；1950 年代後半から「原子力ブーム」：佐田務, 364.

理事会日より 有効数字…：神野郁夫, 366.

会 告 一般社団法人日本原子力学会「第 12 回総会」のご通知, 367.

会 報 原子力関係会議案内, 人事公募, 寄贈本一覧, 「2022 年春の年会」学生ポスターセッション 受賞者一覧, 英文論文誌 (Vol.59, No.6) 目次, 和文論文誌 (Vol.21, No.2) 目次, 主要会務, 編集後記, 編集関係者一覧, Vol.64 (2022), No.6 J-STAGE 閲覧 ID・パスワード, 368.

No.7 (7月号)

巻 頭 言 日本の元首相 5 人による欧州委員会への書簡を受けて：坪倉正治, 373.

時 論 エネルギー問題と主権者教育：たかまつなな, 374.

NEWS 原子力界における最近の動き・国内, 海外情報, 376.

特 集 エネルギー基本計画改定を踏まえたプラントメーカーによる原子力事業展開活動

1. カーボンニュートラル社会の実現に向けた東芝エネルギーシステムズの原子力事業：浅野和仁, 383.
From Editors, 386.
2. カーボンニュートラル実現に向けた日立の原子力事業展開：吉川和宏, 387.
3. カーボンニュートラル実現に向けた三菱重工原子力事業の取組み：神崎寛, 390.

解 説 スロバキア原発事情：新規原子炉建設とロシアのウクライナ侵攻の影響：加藤和平, 増根正悟, 393.
ダイヤモンド放射線検出器の開発(2)：アプリケーションへの展開：金子純一, 397.

連載講座 オールジャパンでとりくむ地層処分のいま(8/最終回)：日本の地層処分技術に関する今後の展望：佐々木隆之, 杉山大輔, 402.

報 告 東京電力核物質防護事案を踏まえた見解：倫理委員会, 408.

Short Report 核データが原子力研究開発の礎となるために：日本原子力学会「シグマ」調査専門委員会, 413.

コ ラ ム オーパス・ワンの箱：越智小枝, 415.

なぜ女性がいらないのか？：小出重幸, 415.

やらなければならないこと：佐々木帆南, 416.

春宵：菅原慎悦, 416.

国際紛争による核脅威と福島原発事故からの教訓：妹尾優希, 417.

視 点 〈社会〉を心理学から読み解く(6)：同調と 2 つの影響：秋保亮太, 418.

Focus 倫理規程制定 20 年を迎えて(8)：企業倫理の醸成に向けた不断の取り組みについて：大森聡, 419.

理事会日より 春の年会理事会セッション報告：小山真一, 420.

会 報 原子力関係会議案内, 誤記訂正, 新入会 一覧, 英文論文誌 (Vol.59, No.7) 目次, 主要会務, 編集後記, 編集関係者一覧, Vol.64 (2022), No.7 J-STAGE 閲覧購読者番号・パスワード, 421.

編集委員会からのお知らせ, 422.

「第 12 回総会」資料(後付)

No.8 (8月号)

巻 頭 言 リスクの「責任論」から「救済論」へ：寿楽浩太, 425.

時 論 「デブリ取り出し」と「ALPS スラリー」—福島廃炉, 本当に優先されるべきは何か：吉野実, 426.

Perspective 脱ロシアと脱中国に必要な原子力発電：山本隆三, 428.

NEWS 原子力界における最近の動き・国内, 海外情報, 430.

特 集 放射線防護に関する学会連携活動と今後の展開

1. 放射線防護アンブレラ事業の概要：神田玲子, 436.
2. 職業被ばくの線量登録管理制度の検討：吉澤道夫, 439.
3. 原子力緊急時の放射線防護に関する専門家の育成・確保の取り組み：高田千恵, 442.
4. 実効線量と実用量に関する WG の活動：佐々木道也, 446.

解 説 社会経済活動によって変容するエネルギー需要：COVID-19 対策がもたらした影響の評価：井上智弘, 449.
From Editors, 453.

「震源を特定せず策定する地震動」の考え方と審査ガイドの改正：佐藤浩章, 454.

報 告 フル MOX-ABWR の運転に向けた炉心分野の取り組み：核設計コードのフル MOX 炉心設計への適用性について：土淵昇, 460.

Short Report 放射性物質等の輸送における原子力安全と核セキュリティの確保に関する IAEA の最近の活動：玉井広史, 465.

コ ラ ム 学びの主人公はだれなのか：浅井佑記範, 468.
プリンセス、アフリカと原子力を語る：井内千穂, 468.
持続可能なエネルギーと自分自身の展望：今中咲幸, 469.
「革新炉」とは何か：佐治悦郎, 469.
苦悩の孤立を解く代償：服部美咲, 470.
今年度に懸ける思い：森夕乃, 470.
最終処分と文学：山田理恵, 471.

私の主張 原子力利用サイクルのクリーン化を目指す；後世に負の遺産を残さないために：高橋忠男, 472.

視 点 〈社会〉を心理学から読み解く(7)；社会的排斥とソーシャル・サポート：秋保亮太, 474.

Focus 倫理規程制定 20 年を迎えて(9)；事故への反省と倫理的行動：更田豊志, 475.

理事会だより 変化の時：佐藤拓, 476.

会 報 原子力関係会議案内, 寄贈本一覧, 新入会一覧, 2022 年度役員および常置委員会委員長紹介, 第 55 回(2022 年度)学会賞受賞候補者推薦募集, 英文論文誌(Vol.59, No.8)目次, 主要会務, 編集後記, 編集関係者一覧, Vol.64(2022), No.8 J-STAGE 閲覧購読者番号・パスワード, 477.

No.9 (9月号)

新会長あいさつ 社会の課題に挑戦する, よりオープンで魅力ある学会に：川村慎一, 481.

巻 頭 言 ウクライナ危機がエネルギー政策に突きつける課題：寺澤達也, 482.

時 論 ドイツの地方自治体から見たウクライナ戦争：高松平蔵, 483.
カーボンニュートラルに向けたクリーン燃料アンモニアの役割：村木茂, 485.

Perspective 政治リスクがもたらすエネルギー地図の転換：三浦瑠麗, 487.

NEWS 原子力界における最近の動き・国内, 海外情報, 489.

特 集 シビアアクシデント解析・実験の最新技術動向

1. シビアアクシデント詳細解析の現状と課題について：山下晋, 496.
From Editors, 499.

2. 福島第一原子力発電所における原子炉圧力容器破損メカニズムの解明に向けた取り組み：間所寛, 永江勇二, 500.

3. SARNET の活動と INSS での SA 時炉心損傷に関する研究：西田浩二, 504.

解 説 「第 6 次エネルギー基本計画」の定量的検証；目標の質的変容：間瀬貴之, 507.

サイエンスよみもの 重力波検出によって明らかになった重元素合成の現場；r-プロセスは衝突合体する中性子星で起きていた：吉田正, 512.

Interview & Commentary 高レベル放射性廃棄物の最終処分地選定一わが国初の文献調査自治体からの問題提起：片岡春雄寿都町長, 高橋昌幸神恵内村長に聞く：坪谷隆夫, 松永一郎, 516.

報 告 組織横断的な原子力教育基盤の構築に向けて；国際原子力人材育成イニシアティブ事業の取り組み：黒崎健, 小崎完, 中島宏, 小原徹, 若林源一郎, 卞哲浩, 松山成男, 阿部博志, 宇埜正美, 山本章夫, 520.
六ヶ所再処理工場の現状：駒嶺哲, 525.

コ ラ ム 今を生きる：島袋慶子, 530.
言葉の縛り：鳥居千智, 530.
「エネルギー問題？」：坂東昌子, 531.
原理を見せる放射線実験：山口克彦, 531.

視 点 〈社会〉を心理学から読み解く(8)；アドルフ・アイヒマンと服従：秋保亮太, 532.

Focus 倫理規程制定 20 年を迎えて(10)；学会の倫理規程を若手はどう活用すべきか：川合康太, 533.

理事会だより 2022 年度(令和 4 年度)新たな体制で活動開始：佐藤拓, 534.

会 報 原子力関係会議案内, 新入会一覧, 英文論文誌(Vol.59, No.9)目次, 和文論文誌(Vol.21, No.3)目次, 主要会務, 編集後記, 編集関係者一覧, Vol.64(2022), No.9 J-STAGE 閲覧購読者番号・パスワード, 535.

No.10 (10月号)

巻頭言 原子力文化：榎本晃章, 539.

時 論 日本人に原子力を使う意志はあるか：大場紀章, 540.

「現象」にとらわれず、今後の社会の在り方を妄想してみる：江田健二, 542.

Perspective 電力自由化の失政、エネルギー安定供給を見据えた長期展望を：山本一郎, 544.

NEWS 原子力界における最近の動き・国内、海外情報, 547.

特 集 民間資金での核融合研究

1. 世界の民間核融合業界で今何が起きているのか：武田秀太郎、キーリー竜太アレックス、馬奈木俊介, 553.

2. 京都フュージョニアリング株式会社による核融合産業化：小西哲之, 557.

3. 高繰り返しレーザ核融合実証に向けた先端レーザ研究：玉置善紀, 561.

4. レーザ核融合炉開発を加速する EX-Fusion 社の取り組み：松尾一輝、森芳孝、増田晃一, 566.

原子力材料における DX 利用と課題

1. 新材料開発とマテリアルズ・インフォマティクス：黒崎健, 569.

2. ARKADIA 一次世代原子力プラント設計のイノベーションに向けて：原子炉構造設計最適化プロセスの実装：森健郎、岡島智史、菊地紀宏、田中正暁、宮崎真之, 572.

3. 超音波探傷画像の AI による診断技術：高橋栞太, 576.

解説シリーズ 技術承継私塾 原子炉压力容器の構造健全性：構造健全性確保の取り組みの概要(その1)：曾根田直樹, 581.

新刊紹介 「トリウム、プルトニウムおよび MA の化学」：坂村義治, 585.

コ ラ ム 科学の勝利・科学者の挑戦：越智小枝, 586.

National Security(安全保障)：小出重幸, 586.

SDGs と原子力発電：佐々木帆南, 587.

テキストとしての標準?：菅原慎悦, 587.

福島を目指して(1)：妹尾優希, 588.

視 点 〈社会〉を心理学から読み解く(9/最終回)：チームワークと認知：秋保亮太, 589.

Focus 倫理規程制定 20 年を迎えて(11)：為すべきことをよりよく成し遂げるために：川村慎一, 590.

理事会だより 経営改善への継続的取り組みとその方向性：新堀雄一, 591.

会 報 原子力関係会議案内、誤記訂正、英文論文誌(Vol.59, No.10)目次、主要会務、編集後記、編集関係者一覧, vol.64 (2022), No.10 J-STAGE 閲覧購読者番号・パスワード, 592.

No.11 (11月号)

巻頭言 維新と原子力政策の未来：音喜多駿, 595.

時 論 新冷戦勃発で空想的な温暖化対策は終わり現実的な対策が進む：杉山大志, 596.

早急に求められる「風評加害」対策：林智裕, 598.

Perspective 原子力発電の脱中国を目指す英国：山本隆三, 600.

From Editors, 602.

NEWS 原子力界における最近の動き・国内、海外情報, 603.

特 集 核セキュリティ分野における人工知能技術の応用と課題

1. 核鑑識および核・放射線テロ現場初動対応関連技術における機械学習モデルの応用：木村祥紀, 610.

2. 重要インフラ管理のためにわれわれはどのように AI を活用できるのか?：田中淳裕, 614.

解 説 「もんじゅ」サイトに設置する新たな試験研究炉の検討状況について：峯尾英章, 617.

TRU 廃棄物処分場での発生ガスの影響に関する技術開発：ガス移行の評価手法およびガス影響低減対策技術の開発：藤井直樹、八木翼, 622.

緩衝材の流出現象と工学的対策：処分場の設計や施工の技術オプションの整備にむけて：林大介, 627.

解説シリーズ 技術継承私塾 原子炉压力容器の構造健全性：構造健全性確保の取り組みの概要(その2)：曾根田直樹, 632.

- 報 告 空気 GM 管放射線測定器の自作キットの開発と放射線の理解を深める活動—活動成果と今後への知見・経験の共有について—：森千鶴夫，青山隆彦，637.
- コ ラ ム 学を修めるといふこと：浅井佑記範，641.
人は本当に対話したいのか：井内千穂，641.
もう少し深く考える必要がありそうだ：佐治悦郎，642.
人と会って言葉を交わす：鳥居千智，642.
福島と歩もうとした政治家を悼む：服部美咲，643.
89 歳の女性科学者：山田理恵，643.
- 視 点 原子力とリスクコミュニケーション(1)：原子力におけるリスクコミュニケーションとは何か？：土田昭司，644.
- Focus 倫理規程制定 20 年を迎えて(12/最終回)：弱きも強きも認め，補い支え合い創る未来：大場恭子，646.
- 理事会だより 2023 年度予算編成方針について：佐藤拓，小山真一，647.
- 会 報 原子力関係会議案内，人事公募，新入会一覧，日本原子力学会「2023 年春の年会」ご案内，「2022 年秋の大会」学生ポスターセッション受賞者一覧，ダイバーシティ推進委員会ポスターセッション受賞者一覧，英文論文誌 (Vol.59, No.11) 目次，主要会務，編集後記，編集関係者一覧，Vol.64(2022), No.11 J-STAGE 閲覧購読者番号・パスワード，648.

No.12 (12 月号)

- 巻 頭 言 今こそ 原子力の再興を：鈴木淳司，653.
- 時 論 廃止措置の課題と現状—正の遺産を次世代へ：柳原敏，654.
- Perspective 十分な電力で V 字回復：加藤康子，656.
- NEWS 原子力界における最近の動き・国内，海外情報，659.
- 特 集 極限微生物と福島廃炉に関する WS の概要
1. 廃炉における金属微生物腐食リスク：電気鉄腐食メカニズムが拓く新リスク管理技術へ：岡本章玄，665.
2. 微生物機能と福島第一原子力発電所の燃料デブリ：大貫敏彦，670.
From Editors，675.
- 解説シリーズ 最先端の研究開発 産業技術総合研究所(1)：メタンハイドレート胚胎域の南海トラフ海底堆積物で生きるメタン生成微生物の実態の解明：吉岡秀佳，片山泰樹，金子雅紀，坂田 将，天羽美紀，藤井哲哉，676.
- 報 告 新元素の探索(1)：森田浩介，坂口聡志，680.
福島事故に係る情報の保存とその利用：福島原子力事故関連情報アーカイブ(FNAA)を通じた取り組み：稲垣理美，早川美彩，686.
2022WiN-Global 年次大会の開催と WiN-Global の活動について：小林容子，691.
- コ ラ ム NMB4.0 公開後半年間の経過報告：岡村知拓，697.
百調は一体にしかず：島袋慶子，697.
なぜ戦争が起こるのか：坂東昌子，698.
環境放射能研究所：山口克彦，698.
- 視 点 原子力とリスクコミュニケーション(2)：リスクコミュニケーションの背景と実践：竹田宜人，699.
- 私の主張 水素と原子力：高嶋哲夫，701.
リスクコミュニケーションはサイエンスコミュニケーションとは違う：西澤真理子，703.
- 理事会だより 2022 年秋の大会開催報告：千葉敏，705.
- 会 報 原子力関係会議案内，2023・2024 年度代議員候補者推薦について，新入会一覧，2023 年度フェロー候補推薦募集，英文論文誌 (Vol.59, No.12) 目次，和文論文誌 (Vol.21, No.4) 目次，主要会務，編集後記，編集関係者一覧，Vol.64(2022), No.12 J-STAGE 閲覧購読者番号・パスワード，706.
総目次・著者名索引 (Vol.64, Nos.1~12) (後付)

日本原子力学会誌「アトモス」総目次 Vol.65, Nos. 1~12(2023)

ATOMOS (Journal of the Atomic Energy Society of Japan)

No.1 (1月号)

- 巻頭言 意識調査からみえてくるもの：森夕乃，1.
- 時 論 専門家と社会，新しい関係づくりの好機：石井孝明，2.
- Perspective 参院選におけるエネルギー問題のプレゼンス：三浦瑠麗，4.
- NEWS 原子力界における最近の動き・国内，海外情報，6.
- 解 説 1F 事故シナリオと燃料デブリ特性の推定と分析：倉田正輝，13.
- 中深度処分の規制基準策定の経緯と考え方：青木広臣，前田敏克，大村哲臣，木嶋達也，田中知，19.
- 研究施設等廃棄物の埋設をめざして—原子力機構による埋設処分とその安全確保に関する検討状況—：坂井章浩，亀井玄人，坂本義昭，25.
- 燃料デブリの取り出しとロボット技術：奥住直明，30.
- From Editors，34.
- 解説シリーズ 最先端の研究開発産業技術総合研究所(2)：高効率な軽量フレキシブル CIS 系太陽電池ミニモジュールを開発：カルコパイライト系薄膜によるエネルギー変換技術：石塚尚吾，35.
- From Abroad エジプト・日本科学技術大学の設立；異文化の壁を越えた日本の協力：鈴木正昭，40.
- 報 告 新元素の探索(2)：森田浩介，坂口聡志，45.
- 伊方 SSHAC プロジェクトの概要と地震 PRA への活用：松崎伸一，西村幹郎，50.
- 倫理は原子力の安全に寄与できるか；倫理規程制定 20 年シンポジウムの概要：倫理委員会，55.
- Short Report 核分裂生成物挙動把握により福島第一原子力発電所廃炉作業に貢献するために：「福島第一原子力発電所廃炉に係る核分裂生成物挙動」研究専門委員会，59.
- コ ラ ム 「不斷の努力」とリスク：越智小枝，61.
- 認知度の違う「原子力」：佐々木帆南，61.
- 倫理と線引き：菅原慎悦，62.
- 福島を目指して(2)：妹尾優希，62.
- 放射性炭素測定と年縞博物館 世界の歴史年代の“標準時”：小出重幸，63.
- 視 点 原子力とリスクコミュニケーション(3)；組織力を向上させる“エンゲージメント”：桑垣玲子，64.
- 理事会だより 秋の大会理事会セッション報告：小山真一，67.
- 会 報 原子力関係会議案内，新入会一覧，基金寄付者芳名者一覧，訃報，原子力総合シンポジウム 2022 開催のご案内，主要会務，編集委員コラム，編集関係者一覧，Vol.65(2023)，No.1 J-STAGE 閲覧購読者番号・パスワード，68.

No.2 (2月号)

- 巻頭言 ウクライナ危機のゆくえ：五百旗頭真，71.
- 時 論 幸を，価値に。神恵内村発の地域商社：大塚英治，72.
- Perspective 「安さ」からではなく，長期的な視点から原子力発電を：山本一郎，74.
- NEWS 原子力界における最近の動き・国内，海外情報，76.
- 解 説 福島第一原子力発電所廃炉の現状と技術戦略；福島第一原子力発電所の廃炉のための技術戦略プラン 2022：中村紀吉，82.
- 原子炉運転員のパフォーマンス測定；パフォーマンス評価プロセスの開発：真塩健二，87.
- 人間信頼性解析(Human Reliability Analysis)定性分析ガイドと人間信頼性データベースの開発；NRRC の人間信頼性解析技術の研究開発：桐本順広，93.
- 原子力発電所の 40 年超プラントの再稼働対応および安全な長期運転に向けた経年劣化に関する取り組み；美浜 3 号機の再稼働および今後の長期運転に向けた取り組み：棚橋晶，97.
- 解説シリーズ 最先端の研究開発 産業技術総合研究所(3)：中性子で電池内部の充放電劣化を画像診断；非一様な劣化分

	布画像を非破壊で定量的に取得：木野幸一, 100.
サイエンスよみもの	^{14}C 分析による過去の極端太陽面爆発の調査：三宅美沙, 104.
報告	東京大学原子炉「弥生」廃止措置における高濃縮ウラン燃料の米国返還：吉廻智江, 村岡真, 鈴木美寿, 長谷川秀一, 108.
	神恵内村に足を運んだ Z 世代の対話より, 井内千穂, 113.
Focus	原子力産業界における働き方改革(1)：原子力機構における働き方改革の歩み：小野綾子, 曾我依子, 國分陽子, 118.
コラム	残念な教材：浅井佑記範, 123.
	立法過程と国民の責任：井内千穂, 123.
	$1 \times 100 = 100 \times 1$ じゃない：佐治悦郎, 124.
	「当たり前」が当たり前になるとき：服部美咲, 124.
	分断される住民たち：山田理恵, 125.
	新刊紹介 重大ハザードのリスクを下げる LOPA—防護層解析—簡素化したプロセスリスクアセスメント：内田剛志, 125.
視点	原子力とリスクコミュニケーション(4/最終回)：リスクガバナンスとリスクコミュニケーション：寿楽浩太, 126.
理事会だより	国際活動の推進について：加治芳行, 128.
会告	代議員選挙について(投票のお願い)：選挙管理委員会, 129.
会報	原子力関係会議案内, 人事公募, 寄贈本一覧, 英文論文誌(Vol.60, No.1, 2)目次, 主要会務, 編集後記, 編集関係者一覧, Vol.65(2023), No.2 J-STAGE 閲覧購読者番号・パスワード, 131.

No.3 (3月号)

特集	1F 事故の教訓と課題 I
	福島第一原子力発電所事故 12 年を迎え—今なすべきこと：新井史朗, 136.
	原発事故後の「勝利」を語れ：石井孝明, 137.
	現世代の責任と伝承：上坂充, 138.
	SNS 時代の科学的情報発信体制について考える：宇野賀津子, 139.
	複合災害からの復興とイノベーションの役割：小沢喜仁, 140.
	Nobody was right：福島第一原子力発電所事故を経て：越智小枝, 141.
	議論の輪を広げ将来へ繋いでいくために：片岡春雄, 142.
	原子力学会の皆様へ：河合弘之, 143.
	防災の観点から必要な原子力発電所の定期的な公的安全審査：河田恵昭, 144.
	原子力のイメージと未来創造：岸田一隆, 145.
	認知バイアスを回避するガバナンス強化の必要性：久郷明秀, 146.
	将来世代に責任を：原子力資料情報室, 147.
	モノカルチャーのリスク：小宮山涼一, 148.
	原子力時代の終焉：佐々木寛, 149.
	チャレンジと成長：鈴木光司, 150.
	レベル 3 PRA の薦め：田中治邦, 151.
	原子力を畏れ, 事故を忘れず, 信頼を回復：千野境子, 152.
	原子力の今後について正面から対峙すべき時：寺澤達也, 153.
	信頼される熟議のために：中村多美子, 154.
	東京電力 HD 原子力安全改革の取り組み：福田俊彦, 伊達宏行, 155.
	世界に誇れる日本の原子力であるために今, すべきこと：藤垣裕子, 156.
	事故に学び前進を！：榎本晃章, 157.
	歴史の教訓を学ぶことの難しさと原発帰還政策：松岡俊二, 158.
	持続可能な社会の担い手を育成するエネルギー環境教育：山野元気, 159.
	エネルギー危機が教える「なすべき」こと：山本隆三, 160.
私の主張	現実を見つめ直し, 責任ある対応を：柳内孝之, 161.

- NEWS 原子力界における最近の動き・国内, 海外情報, 164.
- 解説 除去土壌等の中間貯蔵と再生利用等の進捗状況: 吉田勝利, 170.
- 解説シリーズ 最先端の研究開発 産業技術総合研究所(4 / 最終回); 計算化学と熱関連材料データを活用した高密度蓄熱材の探索; 未利用熱エネルギーの有効活用に向けて: 石田豊和, 174.
- 解説シリーズ 技術承継私塾 原子炉压力容器の構造健全性; 中性子照射脆化のメカニズムと予測: 曾根田直樹, 179.
- 報告 核兵器不拡散条約(NPT)第10回運用検討会議について; 主要論点と議論および最終文書が採択されなかった理由: 田崎真樹子, 183.
- Focus 原子力産業界における働き方改革(2); 日立製作所における DEI 推進と働き方改革: 重栖憲明, 林真里奈, 187. From Editors, 191.
- Short Report SMiRT26 参加報告および SMiRT27 開催計画: 安部浩, 192.
- コラム 「自分事」として: 島袋慶子, 194.
- Unconscious Bias: 鈴木早苗, 194.
- 戦争と環境: 坂東昌子, 195.
- 福島県内の施設探訪①; 東日本大震災・原子力災害伝承館: 山口克彦, 195.
- 理事会だより メタバースと倫理: 小林容子, 196.
- 会報 原子力関係会議案内, 新入会一覧, 英文論文誌(Vol.60, No.3)目次, 和文論文誌(Vol.22, No.1)目次, 主要会務, 編集後記, 編集関係者一覧, Vol.65(2023), No.3 J-STAGE 閲覧購読者番号・パスワード, 197.

No.4 (4月号)

- 特集 1F 事故の教訓と課題 II
- 自己決定力が求められる時代に必要なラストマン意識: 浅野哲, 202.
- 事故解決までの年月の重み直視を: 荒木涼子, 203.
- 「安全神話」からの脱却と原子力エネルギーの重要性: 石村和彦, 204.
- 原子力事業者の安全性向上活動を牽引していく: 魚住弘人, 205.
- 東京電力による損害賠償は政策課題として長期化する: 遠藤典子, 206.
- グレーデッドアプローチとリスク: 岡本孝司, 207.
- エネルギーセキュリティとカーボンニュートラルにおける原発の役割: 柏木孝夫, 208.
- その時何が起こったか, 記録することが大切だ: 上昌広, 209.
- 福島第一原子力発電所事故を経て: 私たちがこれから為すべきことは何か: 小口正範, 210.
- 新しい食・農連携の仕組みを目指して: 小山良太, 211.
- 福島原発事故 10 年検証委員会による 10 年目の検証: 鈴木一人, 212.
- 物理と心理: 関谷直也, 213.
- 原発, 現実を直視し, 新しい学問体系を: 高嶋哲夫, 214.
- 福島第一原子力発電所事故後の復興への取組: 千原由幸, 215.
- 1F 事故の教訓を活かした革新炉や SMR の建設へ: 奈良林直, 216.
- 原子力安全規制の空洞化と社会的監視機構の脆弱性: 長谷川公一, 217.
- カーボンニュートラルからカーボンネガティブへ大気中 CO₂ 除去への原子力利用: 堀雅夫, 218.
- まずは廃棄物処理処分の確実な計画と実施を: 松浦祥次郎, 219.
- 環境再生実証事業等における合意形成と今後の課題: 万福裕造, 220.
- 「変わらない日本」イメージを脱却し未来志向へ: 三浦瑠麗, 221.
- 環境問題で経験してきた「際」からみた 1F 事故: 森口祐一, 222.
- 象徴としての 1F を議論する必要性: 吉川彰浩, 223.
- 福島第一原発の事実を“カミングアウト”させよう; 今, われわれが為すべきこと: 吉野実, 224.
- Perspective 原子力発電が必要な理由を説明しないメディア: 山本隆三, 225.
- NEWS 原子力界における最近の動き・国内, 海外情報, 227.
- 解説 事故耐性燃料(ATF)の開発状況
- (1)原子力の安全性向上に資する技術開発事業での事故耐性燃料の開発の概要: 山下真一郎, 233.
- (2)諸外国における事故耐性燃料の開発状況の概要: 山内景介, 村上望, 松永純治, 山口壮一郎, 238.
- From Editors, 242.

- 解 説 地下水中の微生物群と燃料デブリ模擬物の反応に関する検討：土津田雄馬，大貫敏彦，243.
- Focus 原子力産業界における働き方改革(3)：三菱重工は社員一人ひとりが自律的に働くことができる環境づくりを推進：江本裕哉，248.
- 特別寄稿 原子燃料サイクル三点セット施設と六ヶ所村立地までの道のり：榎本晃章，252.
- コ ラ ム 学ぶことの難しさ：今泉友里，257.
「けしからん」者たちのいる平和：越智小枝，257.
班目先生のこと：菅原慎悦，258.
ジャーナリストはカタギかヤクザか？：小出重幸，258.
- 理事会だより 支部活動の課題と今後の方向性：山岡聖典，259.
- 会 告 2023 年度新役員候補者募集のお知らせ，260.
- 会 報 原子力関係会議案内，寄贈本一覧，2023 年度会費ご納入のお願い，第 55 回(2022 年度)原子力学会賞受賞一覧，各部会 部会賞受賞一覧，各支部 支部賞受賞一覧，2022 年度 JNST 賞受賞一覧，2023 年度新規フェロー一覧，2022 年度(第 16 回)日本原子力学会フェロー賞受賞者一覧，2023 年度永年・シルバー会員一覧，英文論文誌(Vol.60, No.4)目次，主要会務，編集委員コラム，編集関係者一覧，Vol.65(2023)，No.4 J-STAGE 閲覧購読者番号・パスワード，261.

No.5 (5月号)

- 巻 頭 言 原発活用に水差す電力の不正閲覧：井伊重之，275.
- 時 論 革新軽水炉の早期実現に向けて：佐治悦郎，276.
- NEWS 原子力界における最近の動き・国内，海外情報，278.
- 特 集 1F 事故の教訓と課題 Ⅲ
未来に向けた挑戦に事故の教訓を活かす：川村慎一，285.
継続的な安全性向上の重要性をどのように伝えるか：越塚誠一，286.
真のコミュニケーションを実現することでは？：藤田玲子，287.
燃料デブリ研究と事故耐性燃料開発への期待：尾形孝成，288.
熱流動分野におけるチャレンジと次世代に伝えたいこと：杉本純，289.
1F 事故の教訓を踏まえた原子力防災の在り方：嶋田和真，永井晴康，橋本周，飯本武志，290.
核データに見る数値の起源：西尾勝久，291.
材料部会の社会的使命と次世代へ伝えるべきこと：福元謙一，292.
水化学部会がこれからはすべきこと：河村浩孝，294.
優(やさ)しくて，優(すぐ)れているか：山本章夫，295.
検査制度改革と 1F 事故の教訓：近藤寛子，296.
本質的に不変なこと，変わり続けること：堺公明，297.
変容する社会と原子力の可能性：小伊藤優子，298.
リスク情報活用の将来の姿：成宮祥介，299.
国民に愛される原子力となるために：石川顕一，300.
原子力を次世代に伝承する原子力シニアの活動：坪谷隆夫，301.
1F 事故と 3S：核セキュリティの観点から：宇根崎博信，302.
広報情報委員会の活動：ポジション・ステートメント改革について：山本隆一，303.
教育委員会からの提言：池田伸夫，若林源一郎，宇埜正美，芳中一行，304.
国際協力体制の強化について：山内澄，306.
ダイバーシティ&インクルージョン：黒崎健，307.
豊かさと便利さの復讐：佐田務，308.
バックエンドに関する技術開発の将来展開
1. 放射性廃棄物処理・処分および廃止措置の技術開発における現状と課題について：井口幸弘，309.
2. 日本原子力研究開発機構におけるバックエンド関連技術開発のこれまでと将来：目黒義弘，中澤修，堂野前寧，312.
3. 廃止措置技術開発の方向性：エンドステートに必要なもの：渡邊直子，315.
From Editors，318.

	4. 廃止措置技術開発の方向性：実務担当者の立場から：鳥居和敬, 319.
	5. 2022 年秋の大会のパネルディスカッションより：井口幸弘, 322.
解 説	環境放射線と半導体デバイスのソフトエラー ミューオン起因ソフトエラーの測定と課題：橋本昌宜, 323. 環境放射線起因ソフトエラーのシミュレーション：安部晋一郎, 326.
Focus	原子力産業界における働き方改革(4)：ダイバーシティをチーム力に 東芝エネルギーシステムズのワークスタイル変革：岩城智香子, 小向夕紀, 宮寺晴夫, 松山加苗, 新見征之, 331.
コ ラ ム	「地層処分」を手段として捉え直すために：浅井佑記範, 335. ビジネスライク？アットホーム？：鳥居千智, 335. 物語の力を信じたい：服部美咲, 336. 高レベル放射性廃棄物の処分地を決めるのは誰か：山田理恵, 336.
ジャーナリストの視点	次世代原子炉と独自技術の重要性：船越翔, 337.
理事会だより	原子力総合シンポジウム 2022 開催：新堀雄一, 338.
会 告	2023・2024 年度代議員選挙結果の報告：選挙管理委員会, 339. 2023 年度新役員候補者投票のお願い：理事会, 340.
会 報	原子力関係会議案内, 誤記訂正, 新入会一覧, 寄贈本一覧, 2023 年度会費ご納入のお願い, 英文論文誌 (Vol.60, No.5) 目次, 主要会務, 編集委員コラム, 編集関係者一覧, Vol.65 (2023), No.5 J-STAGE 閲覧購読者番号・パスワード, 342.
後付	第 55 回 (2022 年度) 日本原子力学会賞 受賞概要

No.6 (6 月号)

対 談	「原子力復権への覚悟と戦略が問われている」田原総一郎氏×澤田哲生氏：吉野実, 佐田務, 345.
時 論	長期的な電力安定供給と脱炭素の実現へ向けて：佐々木敏春, 351.
Perspective	GX 移行債に繋がる送配電分離や電力自由化の着地を模索する：山本一郎, 353.
NEWS	原子力界における最近の動き・国内, 海外情報, 355.
特 集	1F 事故の教訓と課題 IV 福島第一原子力発電所の廃炉への提言：宮野廣, 360. 原子力工学, また炉物理に携わるものとして：相澤直人, 北田孝典, 362. 1F 事故を経て核融合工学研究者がなすべきこと：波多野雄治, 364. 統合廃棄物管理戦略の必要性：加藤和之, 365. 1F 事故の収束に向けた放射線工学の役割：井口哲夫, 366. 1F の課題解決に向けた放射線測定と異分野技術の統合：佐藤優樹, 367. 人間の安全に対するポジティブな寄与を尊重する：高橋信, 五福明夫, 368. レーザーによる除染とレーザーによる廃止措置：峰原英介, 370. 責任ある原子力技術の研究開発・イノベーションを：寿楽浩太, 372. 現場の経験を大事に：大平拓, 373. 燃料再処理の役割とこれから：鈴木達也, 374. 1F 事故後の YGN の歩みと今後の挑戦：Face to the next generation：川合康太, 375. 人の力を活かし引き出す：大場恭子, 376. 知識の集積と伝承：矢野豊彦, 377.
解 説	社会動向を踏まえた新型炉開発の価値：エネルギー安全保障・廃棄物問題解決等へ貢献できる新型炉開発の価値と課題：高木直行, 378. PRA の高度化の活動—リスク情報の活用に着目した PRA の改善—：PRA の高度化に関する NRRC の取り組み：桜本一夫, 寺本栄次郎, 竹原広樹, 383. From Editors, 387. 環境放射線と半導体デバイスのソフトエラー：北海道大学における中性子ソフトエラー研究の現状：佐藤博隆, 岩下秀徳, 木内笠, 388. 原子炉用燃材料開発のための照射/照射後試験技術：土谷邦彦, 393. 陽電子消滅法による原子力材料中の照射欠陥の観察：外山健, 398.

電子顕微鏡でできること・できないこと・できることの技術的難易度：松川義孝，403.

Focus 原子力産業界における働き方改革(5)；電力中央研究所の職場環境づくり 創造力豊かに研究に取り組むために：土屋いずみ，408.

コ ラ ム 理解ある人々を失望させてはならない：佐治悦郎，411.

伝統と科学技術：島袋慶子，411.

欧州から見た福島：妹尾優希，412.

科学者魂は国境を超える：坂東昌子，412.

福島県内の施設探訪②；コミュタン福島：山口克彦，413.

理事会だより Eグゼクティブ・EデイタはEらい：神野郁夫，414.

会 告 一般社団法人日本原子力学会「第13回総会」のご通知，415.

会 報 原子力関係会議案内，人事公募，「2023年春の年会」学生ポスターセッション 受賞者一覧，2022年度(第16回)「日本原子力学会フェロー賞」受賞者 誤記訂正，英文論文誌(Vol.60, No.6)目次，和文論文誌(Vol.22, No.2)目次，主要会務，編集委員コラム，編集関係者一覧，Vol.65(2023)，No.6 J-STAGE 閲覧購読者番号・パスワード，416.

No.7 (7月号)

巻 頭 言 高レベル放射性廃棄物の最終処分の実現に向けた取組強化：下堀友数，421.

時 論 原子力復活論に期待するな；状況を原子炉新設で動かせ：石井孝明，422.

Perspective 原子力発電所新設というスウェーデンの選択：山本隆三，424.

NEWS 原子力界における最近の動き・国内，海外情報，426.

解 説 六ヶ所再処理工場のガラス固化試験について；アクティブ試験と性能使用前事業者検査に向けた取組み：姫野晴行，432.

From Editors，437.

社会動向を踏まえた新型炉開発の価値

再生可能エネルギーと共存できる新型炉によるカーボンニュートラルへの貢献：大野修司，山野秀将，438.

新型炉開発の海外動向・国際連携：瀬下拓也，443.

PRAの高度化の活動—リスク情報の活用に着目したPRAの改善—

伊方3号機におけるPRAの高度化とリスク情報の活用：橋本望，片上雄介，447.

PRAモデルの高度化から見えてきた課題：羽佐田剛，今井俊一，喜多利亘，寶田翔，佐藤輝和，藤原大資，450.

報 告 進化思考による地層処分への提言：太刀川英輔，454.

福島廃炉研究国際会議(FDR2022)報告：福島ので英知を結集，再び：FDR2022組織委員会，458.

Focus 原子力産業界における働き方改革(6)；関西電力におけるダイバーシティ&インクルージョン推進と働き方改革：市原貴之，松木ゆりえ，462.

コ ラ ム 差別の記憶：越智小枝，466.

石棺騒動を超えて：小出重幸，466.

旅と自律：菅原慎悦，467.

伝えることの重要性：森夕乃，467.

ヨシノの目 60年超炉の安全性と1F事故の教訓：「設計の古さ」を見過ごすな：吉野実，468.

ジャーナリストの視点 原発事故が浮き彫りにした「都市と地元」：酒造唯，470.

理事会だより 春の年会理事会セッション報告：小山真一，471.

会 報 原子力関係会議案内，主催行事，寄贈本一覧，2023年度会費ご納入のお願い，英文論文誌(Vol.60, No.7)目次，主要会務，編集委員コラム，編集関係者一覧，Vol.65(2023)，No.7 J-STAGE 閲覧購読者番号・パスワード，472.

後付「第13回総会」資料

No.8 (8月号)

巻 頭 言 果たされなかった約束について：滝順一，475.

時 論 SMRをめぐる状況と課題；日立GEの取り組み：木藤和明，476.

Perspective 心のゆとりの使い方：越智小枝，478.

NEWS 原子力界における最近の動き・国内，海外情報，480.

解説 国内における浮体式原子力発電の検討状況

浮体式原子力発電に関する開発検討の全体概要：佐々大輔，中野宏之，大森修一，後藤章，485.

浮体式原子力発電における BWR 成立性の評価：木野千晶，手塚健一，489.

中性子イメージング技術と多様な応用状況

パルス中性子ラジオグラフィによる NASICON 型リチウムイオン伝導体 LATP の拡散係数測定：高井茂臣，
藪塚武史，宋方舟，494.

ブラッグエッジイメージング法による銅のミクロ組織の観察：大場洋次郎，佐々木宏和，499.

From Editors, 502.

中性子イメージングを用いた玉軸受内グリースの流動性の観察：木村信治，酒井一泉，503.

商用ヘリカル型小規模定常核融合炉の実現に向けて：世界的に加速する民間核融合開発競争への日本からの挑
戦：宮澤順一，508.

送変電分野におけるポリマーがいしの適用動向：本間宏也，513.

Focus 原子力産業界における働き方改革(7)：原子力発電環境整備機構における事業推進を支える職場づくり：石川満
梨亜，517.

コラム 科学・技術・人との出会いの場：小林容子，520.

第8回次世代イニシアティブ廃炉技術カンファレンス：山口克彦，520.

ヨシノの目 1F 事故最大の教訓としての“関連死”：電力会社は住民保護に積極関与を：吉野実，521.

理事会だより この1年間の理事会活動を振り返って：佐藤拓，523.

会報 原子力関係会議案内，新入会一覧，第56回(2023年度)日本原子力学会賞受賞候補者の推薦募集，2023年度役
員および常置委員会委員長紹介，主要会務，編集委員コラム，編集関係者一覧，Vol.65(2023)，No.8 J-STAGE
閲覧購読者番号・パスワード，524.

No.9 (9月号)

新会長あいさつ 専門知とその基盤を育む日本原子力学会の役割の大きさを改めて考える：新堀雄一，527.

巻頭言 実行の原子力：上坂充，528.

時論 各国の原子力動向からの示唆：第56回原産年次大会を通じて：上田欽一，529.

Perspective 「地層処分を考えるフォーラム in 福井」開催：鈴木早苗，531.

NEWS 原子力界における最近の動き・国内，海外情報，534.

解説 ふげんの廃止措置の状況と今後(1)：水井宏之，540.

国内における浮体式原子力発電の検討状況

核熱結合を考慮した BWR プラント揺動解析：古谷正裕，544.

NEXIP における浮体式炉の熱流動研究と過酷事故の実質的排除への展望：宇井淳，547.

中性子イメージング技術と多様な応用状況

中性子を用いた可視化技術の展開：篠原武尚，552.

日本刀の金属学的研究：鬼柳善明，558.

From Editors, 563.

国際法は，原子力発電所への武力攻撃を抑止できるか。；その限界と今後の課題：福井康人，564.

報告 国内大学における核燃および RI 研究施設の動向：「原子力アゴラ」調査専門委員会 大学等核燃および RI 研究
施設検討・提言分科会，568.

原子力分野におけるダイバーシティ&インクルージョンの推進：小林容子，573.

コラム 学びの入り口はどうあるべきか：浅井佑記範，576.

教育への介入：井内千穂，576.

「将来世代に対する責任」とは：佐治悦郎，577.

関わり合いの産物：鳥居千智，577.

科学に国境はない：服部美咲，578.

文献調査に反対しなかった神恵内村：山田理恵，578.

理事会だより 2023年度(令和5年度)新たな体制で活動開始：吉岡研一，579.

会 報 原子力関係会議案内、寄贈本一覧、共催行事、新入会一覧、英文論文誌(Vol.60, No.8, No.9)目次、和文論文誌(Vol.22, No.3)目次、主要会務、編集委員コラム、編集関係者一覧、Vol.65(2023)、No.9 J-STAGE 閲覧購読者番号・パスワード、580.

No.10 (10月号)

巻 頭 言 卓越性と完全性への憧憬：松浦祥次郎、585.

時 論 福島廃炉と復興を魅える化するには：鈴木俊一、586.

Perspective 科学的根拠なく情緒的な政治的配慮に翻弄される原子力・エネルギー政策の蹉跌：山本一郎、588.

NEWS 原子力界における最近の動き・国内、海外情報、590.

特 集 新型燃料の導入に向けた道筋；安全評価技術の継続的向上の視点から

1. 企画趣旨と課題整理：田邊恵三、村上健太、596.

新刊紹介 照射材料科学の基礎—金属および合金の照射効果—：園田健、597.

2. 10×10 燃料を導入する際の課題とその解消に向けた道筋：鶴田義昭、598.

3. 炉心燃料分野の解析コードの高度化と学会標準の整備状況：工藤義朗、600.

4. 新型燃料に関する規制対応上の技術的課題：永瀬文久、金子順一、北野剛司、603.

5. 新型燃料の継続的な導入に必要な知識基盤とその論点：村上健太、山本章夫、606.

解 説 試験研究炉の低濃縮化に関する取り組みと国際動向：宇根崎博信、608.

原子炉ニュートリノ測定実験の現状とその先端技術：吉田正、613.

都市域での放射線テロ対策の最前線

1. 核セキュリティ事案における初動対応：土屋兼一、618.

2. 局所域高分解能大気拡散・線量評価システム LHADDAS の開発と放射線テロ対策への応用：中山浩成、佐藤大樹、621.

ふげんの廃止措置の状況と今後(2)：水井宏之、625.

コ ラ ム 原子力発電所立地県都の住民が思うこと：石原孝子、630.

“誰かがやってくれる”：今泉友里、630.

核エネルギーとはどういうものか 森田敏夫さんに学ぶ：小出重幸、631.

「災害の防止」と脆弱性：菅原慎悦、631.

東戸塚から学ぶ患者さん目線の医療：妹尾優希、632.

理事会だより 年会・大会の今後の運営について：林巧、633.

会 報 原子力関係会議案内、共催行事、新入会一覧、標準書籍発行のご案内、英文論文誌(Vol.60, No.10)目次、主要会務、編集委員コラム、編集関係者一覧、Vol.65(2023)、No.10 J-STAGE 閲覧購読者番号・パスワード、634.

No.11 (11月号)

巻 頭 言 グリーン化と原子力が展開するスウェーデン：能化正樹、637.

時 論 第三の文献調査実施地域の選定に向けて：坪谷隆夫、638.

Perspective 「三分の理」を知る：越智小枝、640.

NEWS 原子力界における最近の動き・国内、海外情報、642.

解 説 再稼働に向けてヒューマン・マシン・システム研究部会に何ができるか？

1. BTC における BWR 運転訓練の取り組み：岩垂功二、647.

2. 原子力発電所におけるリスクマネジメントの取り組み：渡邊靖礼、651.

From Editors、654.

地熱・地中熱エネルギー開発の現状と課題；今後の発電利用と地中熱利用に向けた展望：窪田ひろみ、海江田秀志、655.

ウクライナ侵攻による原子力情勢の変化；ロシア依存からの脱却、原子力への回帰：黒田雄二、660.

新刊紹介 放射線物理学：山西弘城、665.

with コロナ時代のオープンスクールの在り方；コロナ禍、苦境に立たされた原子力オープンスクール活動継続のために必要なこととは：羽倉尚人、吉田茂生、掛布智久、岡田往子、666.

サイエンスよみもの 南極緑藻に見つかった赤外線利用型光合成；低いエネルギーで光合成するしくみ：小杉真貴子、川崎政人、柴田穰、670.

報 告 福島第一原子力発電所廃炉作業効率化とソースターム予測 精度向上への貢献に向けた FP 挙動に関する技術調査；本専門委員会の 2 年間の活動報告：「福島第一原子力発電所廃炉に係る核分裂生成物挙動」研究専門委員会，674.

Focus 原子力産業界における働き方改革(8/最終回)；ダイバーシティ推進と働き方改革の総括：小林容子，680.

コ ラ ム 学び続ける生徒たち：浅井佑記範，683.

サイレント・マジョリティ：井内千穂，683.

漂流する「安全目標」：佐治悦郎，684.

使ってなくても役に立つ：鳥居千智，684.

「築城一日目」の宣言：服部美咲，685.

HLW を引き受ける覚悟とは：山田理恵，685.

理事会だより 多様性とイノベーションの未来へ：小林容子，686.

会 報 原子力関係会議案内，人事公募，日本原子力学会「2024 年春の年会」ご案内，「2023 年秋の大会」学生ポスターセッション受賞者一覧，「2023 年秋の大会」ダイバーシティ推進委員会ポスターセッション受賞者一覧，英文論文誌 (Vol.60, No.11) 目次，主要会務，編集委員コラム，編集関係者一覧，Vol.65 (2023), No.11 J-STAGE 閲覧購読者番号・パスワード，687.

No.12 (12 月号)

巻 頭 言 原子力と「人間の条件」：戸谷洋志，691.

時 論 動き出した原子力政策：小野透，692.

Perspective 原子力ルネサンスをこれから支える国は？：山本隆三，694.

NEWS 原子力界における最近の動き・国内，海外情報，696.

特 集 産業界における人材育成の現状と課題について

1. 東京電力 HD における人材育成の取組み：松澤泰弘，701.

2. 原子力機構における人材育成の取組：宮村(中村)浩子，705.

3. 日立 GE における人材育成の取組み：松井哲也，708.

From Editors，675.

解 説 廃止措置におけるグレーデッドアプローチの考え方の適用：田中健一，711.

サイエンスよみもの レーザー加速器による高速中性子ラジオグラフィ；レーザー加速器で電子発生量 100nA 達成：有川安信，716.

太陽系小天体におけるガンマ線による前生物的なアミノ酸の形成：癸生川陽子，721.

新刊紹介 渡り鳥たちが語る科学夜話—不在の月とブラックホール，魔物の心臓から最初の詩までの物語：門脇正尚，量子ビーム科学の基礎と応用：日塔光一，726.

Short Report 原子力研究開発の基盤としての核データ：「シグマ」調査専門委員会，727.

コ ラ ム シンギュラリティ再考：小林容子，729.

再びトリチウム処理水問題：坂東昌子，729.

ヨシノの目 東海第二原発の事故を想定した「拡散シミュレーション」；住民理解を得るまで，繰り返し説明を：吉野実，730.

会 報 原子力関係会議案内，人事公募，誤記訂正，2024 年度フェロー候補推薦募集，英文論文誌 (Vol.60, No.12) 目次，和文論文誌 (Vol.22, No.4) 目次，主要会務，編集委員コラム，編集関係者一覧，Vol.65 (2023), No.12 J-STAGE 閲覧購読者番号・パスワード，732.

総目次・著者名索引 (Vol.65, Nos.1~12) (後付)